令和　7　年度
最上川水系渇水情報連絡協議会　定例会

日　時　令和７年７月１４日(月)１０時００分
場　所　山形河川国道事務所大会議室及びWEB
進　行　山形河川国道事務所　河川管理課長

次　　第

１．開　　会

２．あいさつ　　山形河川国道事務所長

３．議　　事　　規　約　改　正　　・・・資料１

４．情報提供等　　(１)気象概況及び今後の気象予測について　　・・・資料２

(２)最上川水系の流況等について　　・・・資料３

(３)国土交通省所管のダムの状況について　　・・・資料４

(４)農林水産省所管のダムの状況について　　〃

(５)山形県 県土整備部所管のダムの状況について　　〃

(６)山形県 農林水産部所管のダムの状況について　　〃

(７)東北電力株式会社所管のダムの状況について　　〃

(８)渇水に関する情報の収集・提供について　　・・・資料５

５．その他

６．閉　　会

資料－１

規　約　改　正

最上川水系渇水情報連絡協議会　　事務局

規　約　改　正

１）協議会規約第４条第１項中、
委員会（別表）、 幹事会(別表二)の「機関名及び職名」を次のとおり改める。

別表第一

改　　正　　前	改　　正　　後
山形県　企業局　参事（兼）電気事業課長	山形県　企業局　電気事業課長

別表第二

改　　正　　前	改　　正　　後
山形県　農林水産部　水産振興課 課長補佐（水産業成長産業化）	山形県　農林水産部　水産振興課 水産業成長産業化主査
山形県　県土整備部　河川課　課長補佐	山形県　県土整備部　河川課 副主幹（兼）課長補佐

最上川水系渇水情報連絡協議会規約

（名称）

第１条　この協議会は「最上川水系渇水情報連絡協議会」と称する。
（以下「協議会」という。）

（目的）

第２条　協議会は、最上川水系の渇水時における関係利水者間の水使用の情報交換を積極的に行い、渇水時の合理的な水利用並びに河川環境の保全を図ることを目的とする。

（事業）

第３条　協議会は、前条の目的を達成するため、次の事項を協議するものとする。

一、　最上川水系における水利用の実態に関する情報交換及び連絡体制に関すること

二、　河川維持流量及び水質等河川環境の保全に関する情報交換

三、　渇水時の合理的な水利用の方策に関すること

四、　その他必要と認められる事項に関すること

（組織）

第４条　協議会には、委員会（別表第一）及び幹事会（別表第二）を置く。

２、会長は協議会を代表し、会務を掌理する。

３、副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

（委員会）

第５条　委員会は協議事項の処理のため以下に示す段階において召集する。

一、毎年度当初（定例会）

二、会長が必要と認めたとき

（幹事会）

第６条　幹事会は協議会の運営に関し、委員会に提案する事項をあらかじめ整理するとともに、委員会から委任された事項を処理する。

２、幹事会は協議事項の検討のため以下に示す段階において、幹事長が召集する。

一、別表第三の基準地点及び補助地点において、基準流量を一週間程度

下回り、早期の流量回復が見込まれない場合及びそのおそれがある場合

二、直轄ダムにおいて、確保水位相当の水位を一週間程度下回り早期の回復が見込まれない場合

三、許可にかかる水利使用が極めて困難となった場合又は、それに準ずる場合

四、県内の主要都市において給水制限等が実施された場合

五、会長又は幹事長が必要と認めたとき

３、幹事長は、幹事会の運営に関する必要な事項は、幹事会に諮って定める。

（事務局）

第７条　協議会の事務局を、東北地方整備局 山形河川国道事務所 河川管理課に置く。

（規約の改正）

第８条　協議会は、この規約を改正する必要があると認めるときは、委員の同意を得てこれを行うことができる。

（雑則）

第９条　この規約の定めるもののほか、協議会の運営に関する必要な事項は、会長が委員会に諮って定める。

（附則）

本規約は、平成１０年　５月２９日から施行する。

・平成１０年　７月１７日一部改正
・平成１１年　５月２５日一部改正
・平成１２年　５月２６日一部改正
・平成１３年　５月２８日一部改正
・平成１４年　６月　７日一部改正
・平成１５年　６月２４日一部改正
・平成１６年　６月２４日一部改正
・平成１７年　６月１５日一部改正
・平成１８年　６月１５日一部改正
・平成１９年　５月３０日一部改正
・平成２０年　５月２７日一部改正

・平成２１年　４月２４日一部改正
・平成２２年　５月２６日一部改正
・平成２３年　７月１１日一部改正
・平成２４年　６月　７日一部改正
・平成２５年　６月　３日一部改正
・平成２６年　６月　２日一部改正
・平成２７年　６月　１日一部改正
・平成２８年　５月２３日一部改正
・平成２９年　６月１４日一部改正
・平成３０年　６月１８日一部改正
・令和　元年　６月１２日一部改正
・令和　４年　７月　５日一部改正
・令和　５年　６月１９日一部改正
・令和　６年　４月２４日一部改正
・令和　７年　７月１４日一部改正

別表第一

委員会　組織一覧

役職	機関名及び職名
会長	東北地方整備局　山形河川国道事務所長
副会長	東北農政局　西奥羽土地改良調査管理事務所長
委員	山形地方気象台　観測予報管理官
委員	東北地方整備局　酒田河川国道事務所長
委員	東北地方整備局　新庄河川事務所長
委員	東北地方整備局　最上川ダム統合管理事務所長
委員	山形県　防災くらし安心部　食品安全衛生課長
委員	山形県　環境エネルギー部　水大気環境課長
委員	山形県　農林水産部　水産振興課長
委員	山形県　農林水産部　農村整備課長
委員	山形県　県土整備部　河川課長
委員	山形県　企業局　水道事業課長
委員	山形県　企業局　電気事業課長
委員	東北電力株式会社　山形発電技術センター　所長
委員	山形県土地改良事業団体連合会　専務理事

別表第二

幹事会　組織一覧

役職	機関名及び職名
幹事長	東北地方整備局　山形河川国道事務所　副所長
幹事	東北農政局　西奥羽土地改良調査管理事務所　最上川支所長
幹事	山形地方気象台　気象情報官
幹事	東北地方整備局　酒田河川国道事務所　河川管理課長
幹事	東北地方整備局　新庄河川事務所　管理課長
幹事	東北地方整備局　最上川ダム統合管理事務所　管理課長
幹事	山形県　防災くらし安心部　食品安全衛生課　課長補佐
幹事	山形県　環境エネルギー部　水大気環境課 課長補佐（水環境担当）
幹事	山形県農林水産部水産振興課　水産業成長産業化主査
幹事	山形県　農林水産部　農村整備課　農村防災・災害対策主幹
幹事	山形県　県土整備部　河川課　副主幹（兼）課長補佐
幹事	山形県　企業局　水道事業課 課長補佐（水道施設管理・脱炭素化推進担当）
幹事	山形県　企業局　電気事業課　課長補佐
幹事	東北電力株式会社　山形発電技術センター　副調査役
幹事	山形県土地改良事業団体連合会　技術部　農村計画課長

別表第三

最上川水系渇水情報連絡協議会
基準・補助観測地点

地 点 別	河川名	観測所名	基　準　流　量
基準地点	最上川	高　　屋	６０㎥／s
補助地点	最上川	稲　　下	３０㎥／s
〃	最上川	中　　郷	１１㎥／s
〃	最上川	小　　出	７㎥／s
〃	最上川	糠 野 目	３㎥／s
〃	鮭　川	真　　木	最近５ヵ年平均渇水流量 （７．７６㎥／s）

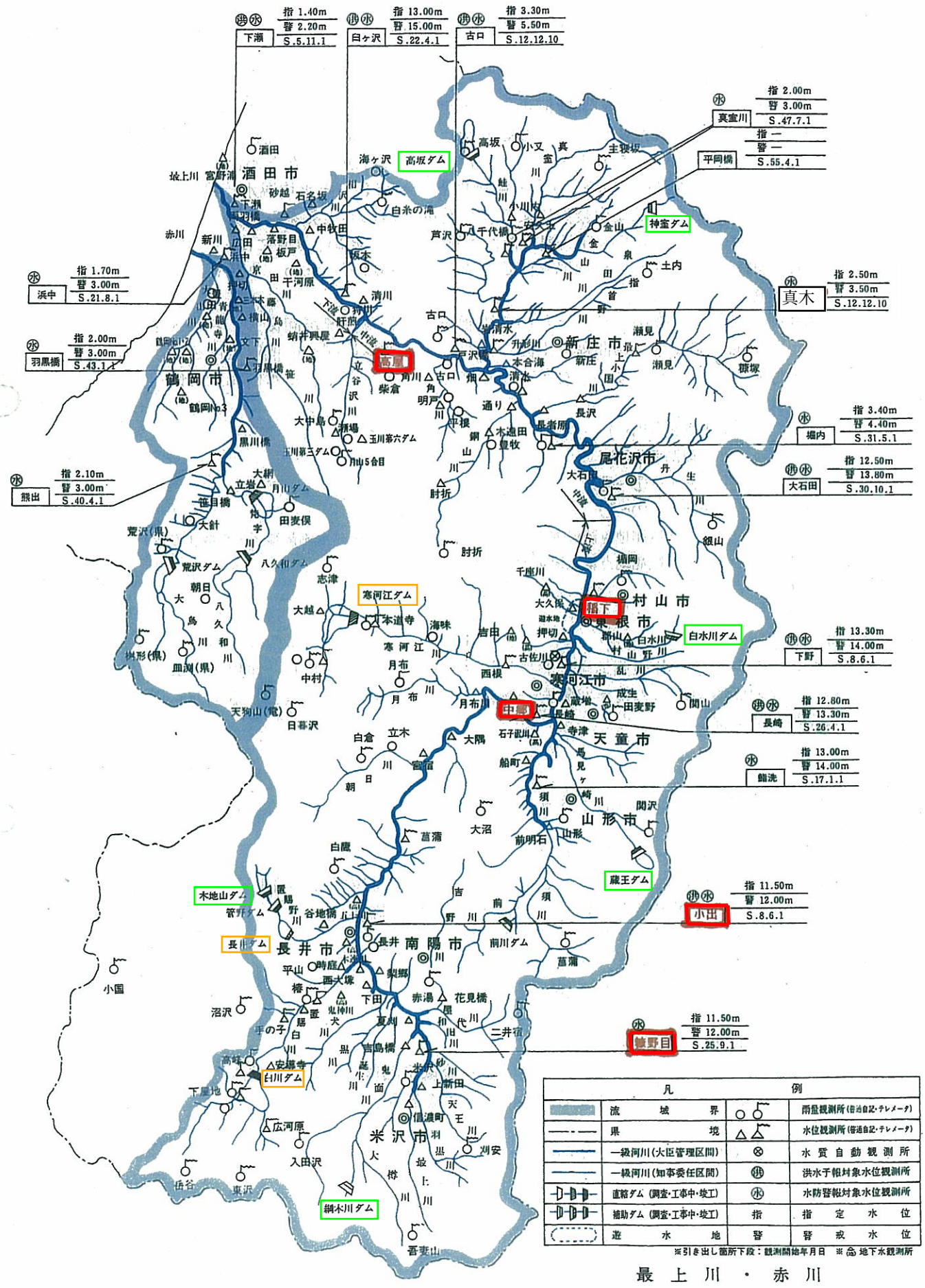
体制基準

体　制		通常業務体制	注　意　体　制	警　戒　体　制	非　常　体　制
渇水段階		①すべての観測地点（基準・補助）の流況が、基準流量又は最近５ヵ年平均渇水流量を上回る。 ただし、最近５ヵ年平均渇水流量を下回った場合、情報提供を行うこととする。 ※取水障害なし	①観測地点の流況が基準流量をを下回り、早期の流量回復が見込まれない場合及びそのおそれがある場合。 基準流量の定まっていない観測地点については、最近５ヵ年渇水流量を下回り、早期の流量回復が見込まれない場合及びそのおそれがある場合 ②直轄ダムにおいて、確保水位相当の水位を一週間程度下回り、早期の回復が見込まれない場合。 ③その他支部長が必要と認めた場合	①取水障害が生じ、重大な被害が予想される場合。 ②直轄ダムにおいて、貯水池の水位が著しく低下し、ダム補給に著しい支障が生ずるおそれがある場合。 ③渇水により河川環境に著しい悪影響を及ぼすおそれがある場合 ④その他支部長が必要と認めた場合	①渇水による重大な被害が生じた場合。 ②直轄ダムにおいて、ダム最低水位に達すると予想される場合。 ③渇水により河川環境に著しい悪影響を及ぼした場合。 ④その他支部長が必要と認めた場合
情報収集	流況・雨量等情報	（通常観測） ・河川流況 ・雨　　量 ・ダム流況 ・水　　質 ・河川環境　等 低水流観の実施（水質調査含む） 流況情報の提供		県補助ダムの流況 流況予測	
	渇水対応		渇水情報連絡協議会（幹事会）開催の判断 ・情報収集 ・利水関係者の動き　等	渇水情報連絡協議会（幹事会）の開催〔会長又は幹事長の判断〕 ・国、県、利水関係機関の協議 ・利水関係者の会議開催の状況	渇水情報連絡協議会（委員会）の開催〔会長の判断〕 ・渇水調整協議の円滑化
	渇水状況		取水障害の有無 給水制限の有無 節水状況の把握 河川環境の把握	・取水量の把握（個別） 流域全体を対象とし、利水ダムの状況の把握も含む。 **・報道機関への広報活動**	・渇水被害実態の把握

【渇水対策業務】

1. 気象及び水象状況の把握
2. 河川の水質等河川環境状況の把握（ダム貯水池の水質状況を含む）
3. 流況予測及び河川の水質予測（ダム操作予測と下流河川基準点の流況、水質予測を含む）
4. 各利水者の取水実態の把握
5. 各利水者の水需要望の把握
6. 排水実態の把握
7. 渇水被害実態の把握
8. 水質汚濁防止連絡協議会等との連絡調整
9. 関係地方公共団体、電力会社等との情報交換
10. 渇水調整案の作成及び渇水情報連絡協議会等への渇水調整案の提示（ダムの操作規則以外の操作を含む）
11. 報道機関への広報活動
12. 利水者の節水広報の指導
13. その他、渇水対策上必要な業務

観測所位置図（水位・雨量観測所）



※引き出し箇所下段：観測開始年月日　※㊎地下水観測所

最上川・赤川

Ｒ７最上川水系渇水情報連絡協議会連絡先

国土交通省
- 山形河川国道事務所　河川管理課　023-688-8942（直通）
- 酒田河川国道事務所　河川管理課　0234-27-3497（直通）
- 新庄河川事務所　管理課　0233-22-0275（直通）
- 最上川ダム統合管理事務所　管理課　0237-75-2312（直通）

農林水産省　西奥羽土地改良調査管理事務所　最上川支所　023-643-9961

気象台　山形地方気象台　023-622-0632

山形県
- 防災くらし安心部　食品安全衛生課　023-630-3313
- 環境エネルギー部　水大気環境課（水環境担当）　023-630-2204
- 農林水産部　水産振興課　023-630-3071
- 農林水産部　農村整備課（利水調整担当）　023-630-2416
- 県土整備部　河川課　023-630-2615
- 企業局　水道事業課　023-630-2387
- 企業局　電気事業課　023-630-2743

東北電力株式会社　山形発電技術センター　023-634-8024

山形県土地改良事業団体連合会　技術部 農村計画課　023-647-5384

上水道用水

（主要な上水道）
- 山形市
  - ・山形市水道（最上川）
  - ・山形市水道（馬見ヶ崎川・蔵王ダム）
- 山形県　企業局
  - ・村山広域水道（寒河江川）
  - ・置賜広域水道（刈安川・水窪ダム）
  - ・置賜広域水道（綱木川・綱木川ダム）
  - ・最上広域水道（金山川・神室ダム）
  - ・庄内広域水道（田沢川・田沢川ダム）
- 酒田市　・酒田市水道　（最上川）

発電用水
（主要な発電用水）

東北電力（株）山形発電技術センター
- 上郷発電所　（最上川）
- 本導寺発電所（寒河江川・寒河江ダム）
- 新水ケ瀞発電所（寒河江川）

山形県　企業局　電気事業課
- 白川発電所（置賜白川・白川ダム）
- 大沢川発電所（鮭川・高坂ダム）
- 新野川第一発電所（置賜野川・長井ダム）
- 野川第二発電所（置賜野川・木地山ダム

工業用水
（主要な工業用水）

山形県　企業局　水道事業課
- 酒田工業用水道（最上川）
- 八幡原工業用水道（刈安川等・水窪ダム）

農業用水
（主要な農業用水）

東北農政局関係
- 最上川下流農業水利事業（最上川）
- 新庄農業水利事業（最上川）
- 泉田川農業水利事業（泉田川）
- 村山北部地区かんがい用水（丹生川等）
- 寒河江川下流地区かんがい用水（寒河江川）
- 最上川中流地区かんがい用水（最上川等）
- 白川地区かんがい用水（置賜白川等）
- 米沢平野地区かんがい用水（刈安川等）

山形県　農林水産部
- 村山北部地区かんがい用水（丹生川等）
- 千座川地区かんがい用水（千座川等）
- 北村揚水機（最上川）
- 天童豊栄揚水機（最上川等）
- 小田島堰取水施設（最上川等）
- 三郷地区県営鉱毒対策事業（最上川等）
- 上山西部地区かんがい排水事業（須川等）
- 上山東部地区かんがい用水（須川等）
- 野川農業用水（置賜野川）
- 米沢平野地区かんがい用水（羽黒川等）

土地改良区
- 最上堰頭首工（最上川等）
- 諏訪堰頭首工（最上川）

資料－２

気象概況及び今後の気象予報について

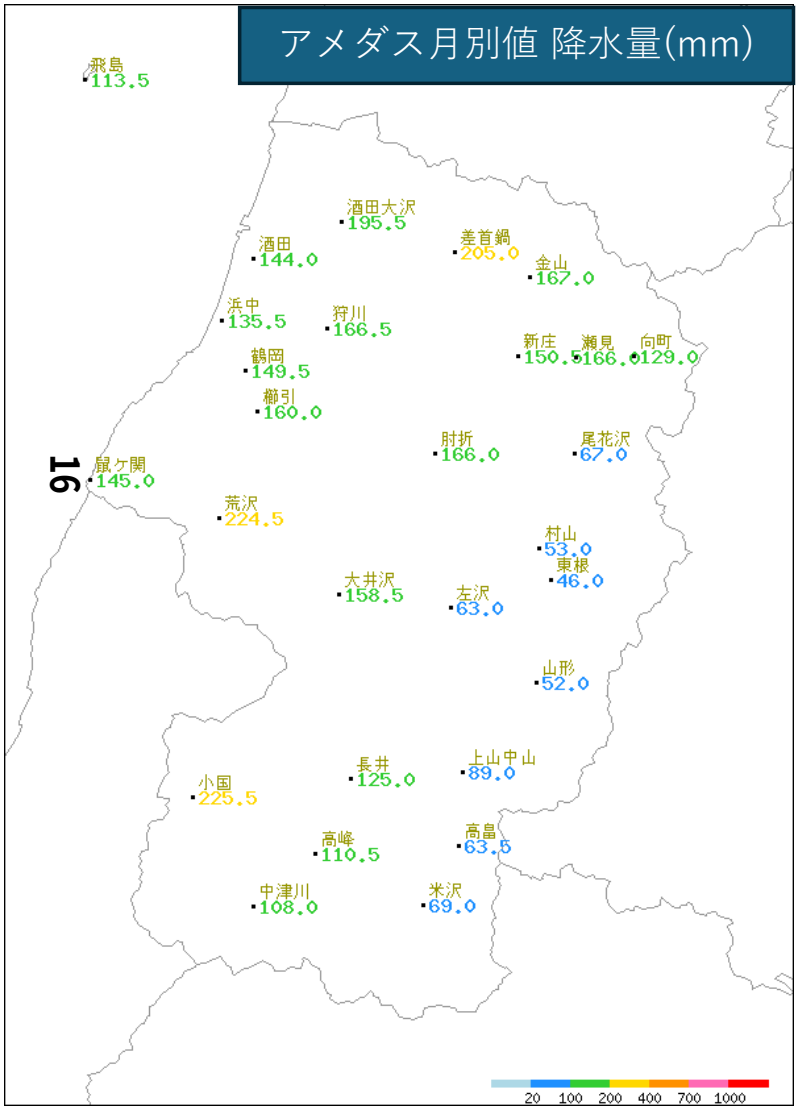
山形地方気象台

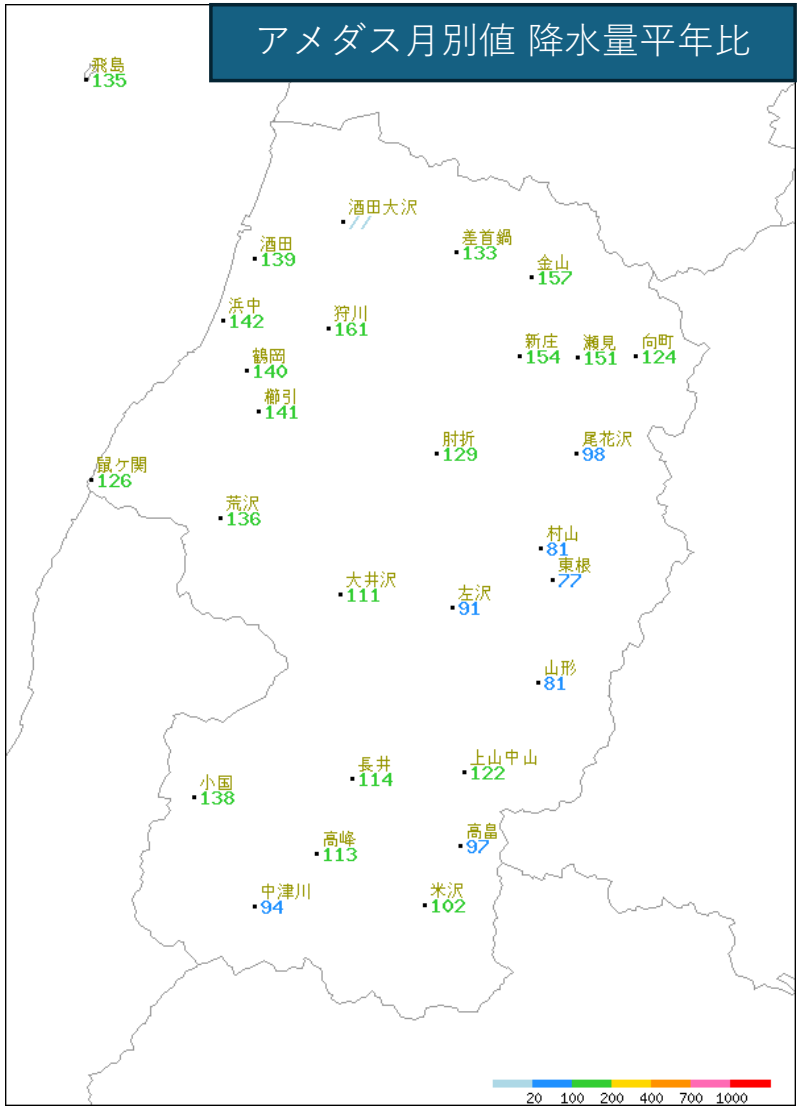
令和7年度
最上川水系渇水情報連絡協議会定例会議

気象概況及び今後の気象予測

山形地方気象台

気象経過：アメダス月別降水量と平年比（4月）



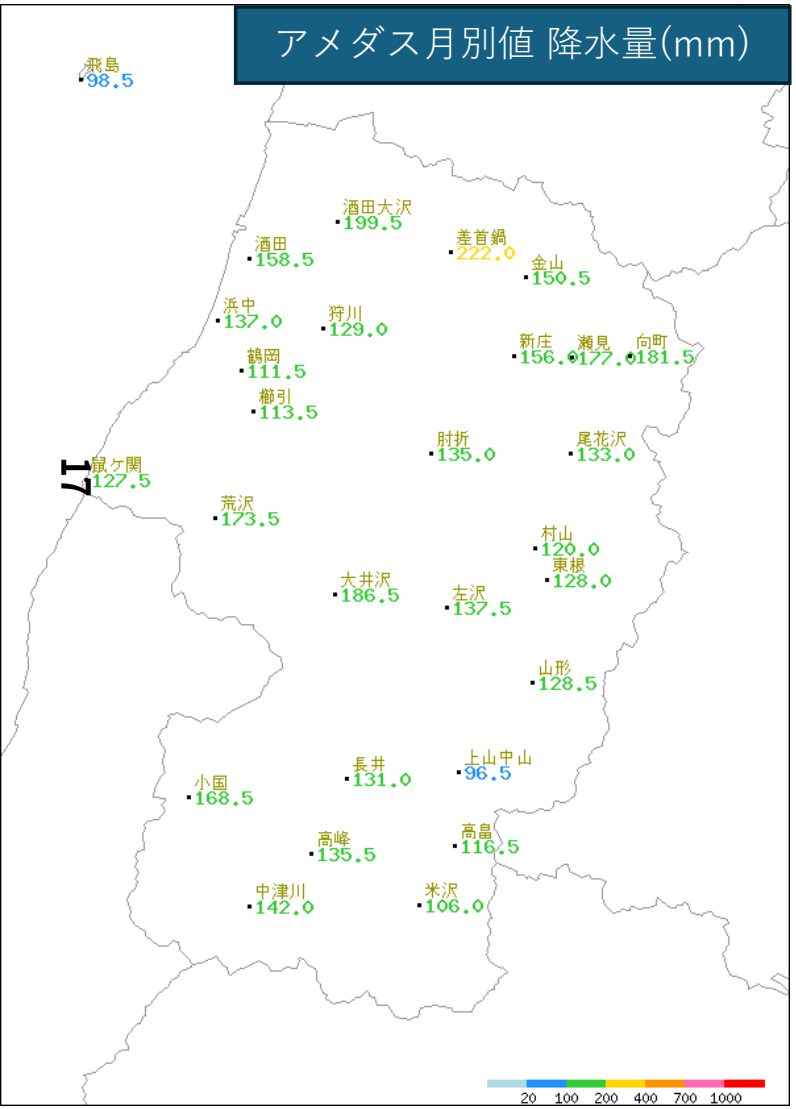


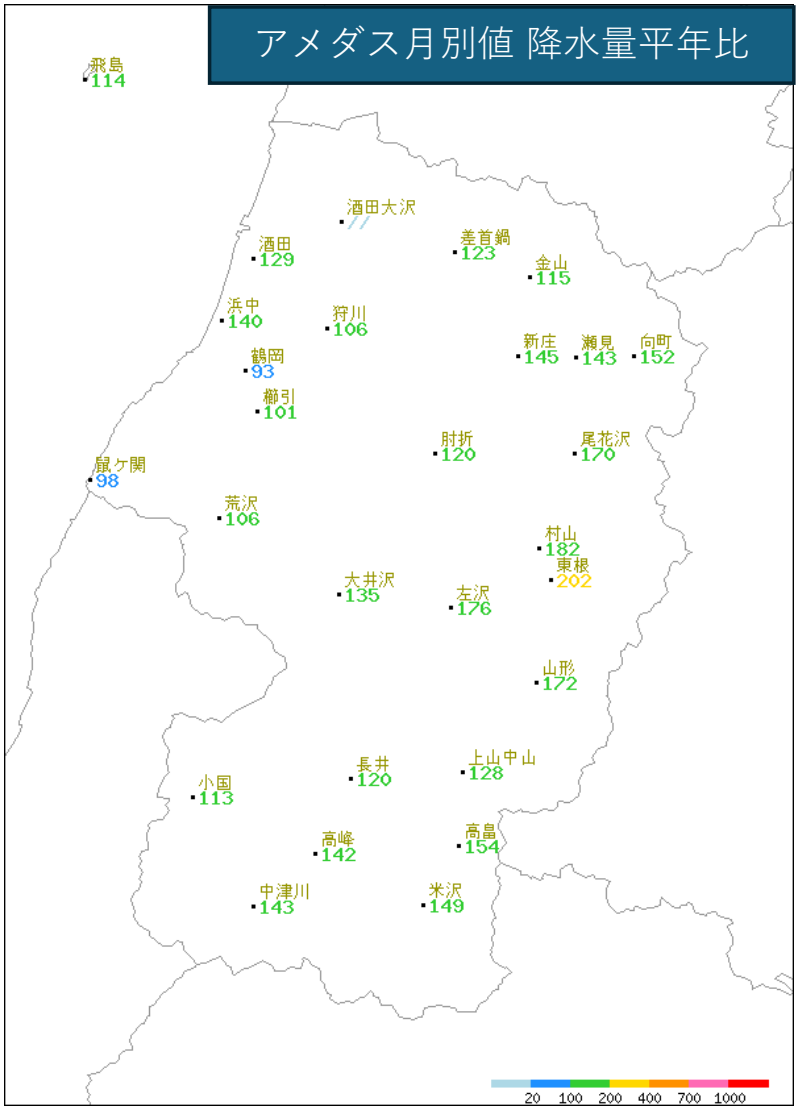
【概況】

この期間、低気圧が周期的に日本付近を通過したため、曇りや雨の日が多かった。また、期間を通して暖かい空気が流れ込んだため、気温は高めで経過した。

月平均気温は平年並みか高い。**月降水量は少ないから平年並か多く、庄内・最上ではかなり多い所がある。**月間日照時間はかなり少ない所が多い。

気象経過：アメダス月別降水量と平年比（5月）



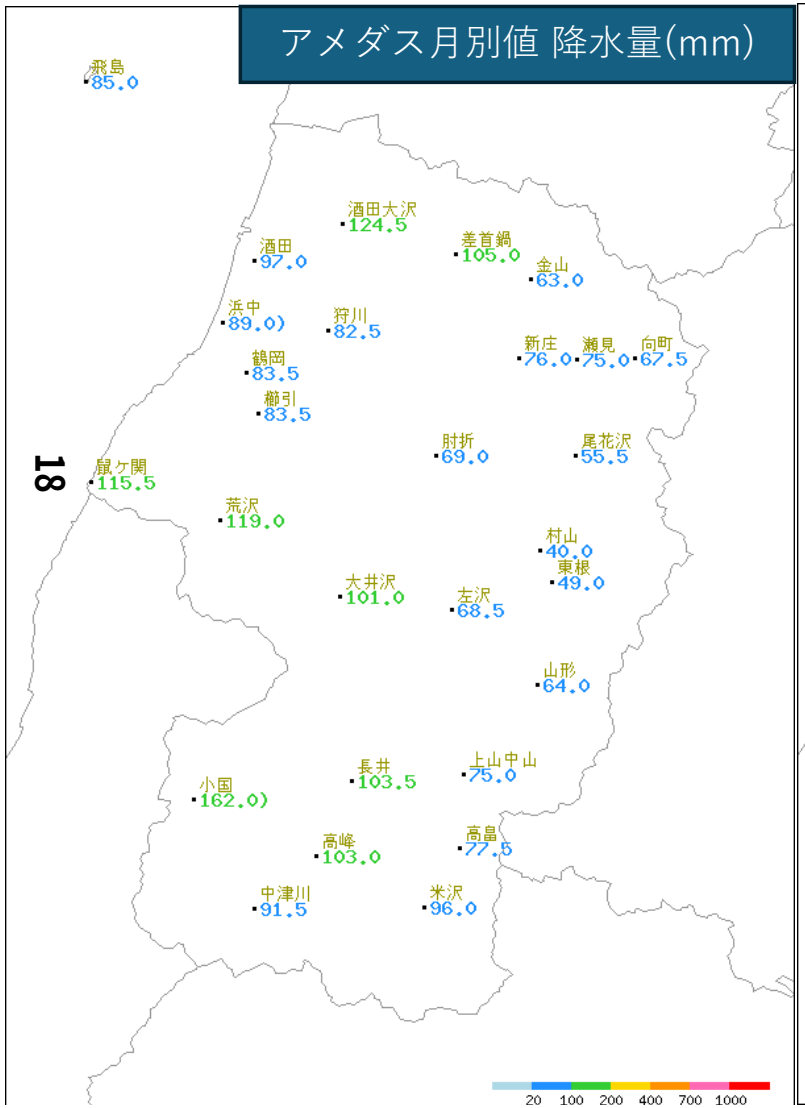


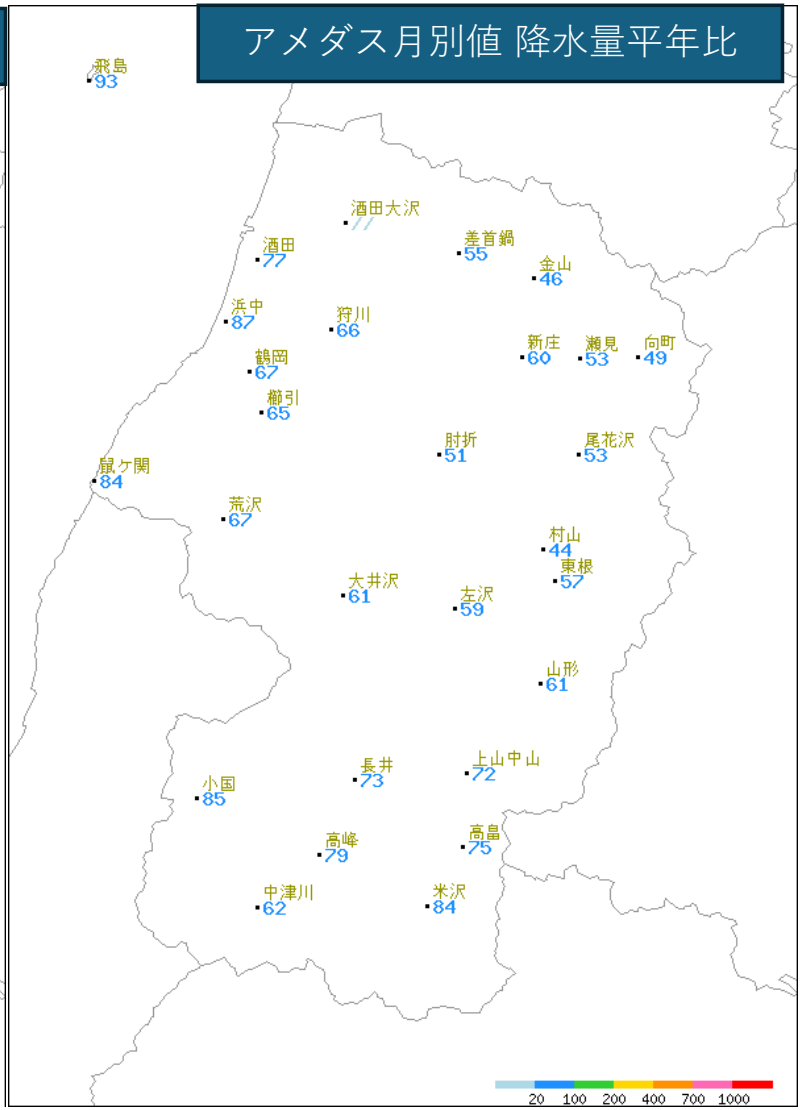
【概況】

この期間、低気圧や前線と高気圧が交互に接近・通過したため、天気は周期的に変化した。

月平均気温は平年並みから高い。**月降水量は平年並みから多く、最上・村山ではかなり多いところがあった。**月間日照時間は少なく、最上・村山・置賜ではかなり少ないところもあった。

気象経過：アメダス月別降水量と平年比（6月）





【概況】

この期間、高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、梅雨前線や低気圧の影響で、中旬は雨や曇りの日が多かった。

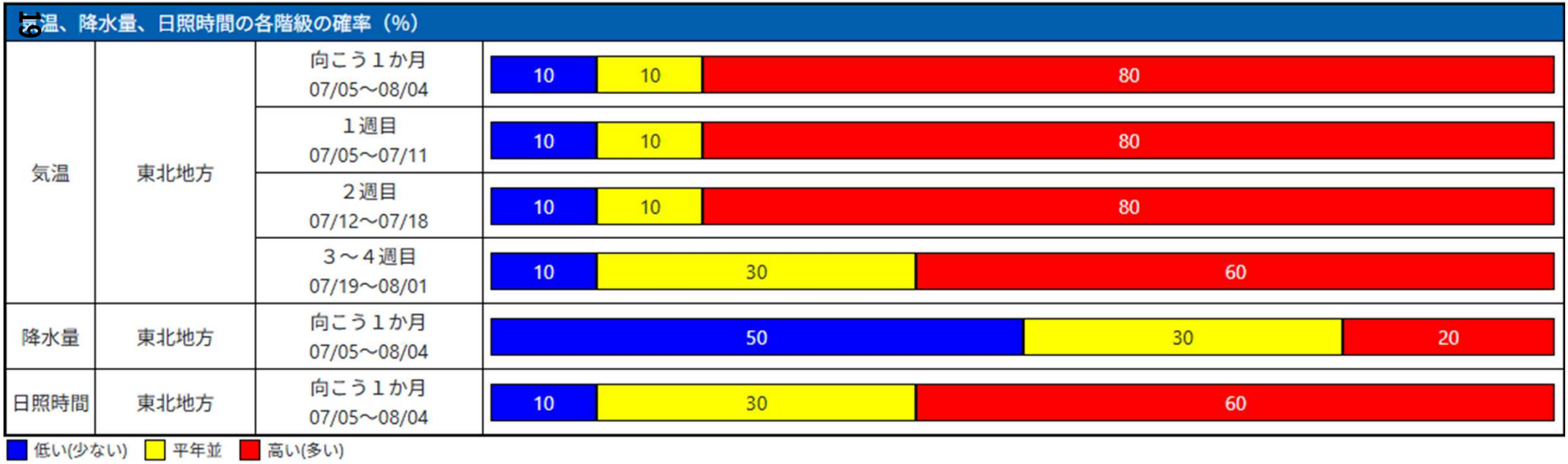
月平均気温はかなり高く、月平均気温、日最高気温、日最低気温のいずれも高い方から、6月の極値を更新する地点があるなど記録的な高温となった。**月降水量は、梅雨入りした中旬には、まとまった雨が降ったが、月降水量は平年並か少なく、村山ではかなり少ない所があった。**月間日照時間は、平年並か多く、最上、村山、置賜ではかなり多い所があった。

今後の天候の見通し：1か月予報（7月3日発表）

天候：山形県を含む東北日本海側では、期間の前半は、平年に比べ曇りや雨の日が少ない。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多い見込み。

降水量：**少ない確率50%**

※次回7月10日発表予定



今後の天候の見通し：3か月予報（6月24日発表）

天候：

8月　山形県を含む東北日本海側では、平年と同様に晴れの日が多い。**降水量は多い確率40%**

9月　山形県を含む東北日本海側では、天気は数日の周期で変わる見込み。**降水量は多い確率40%**

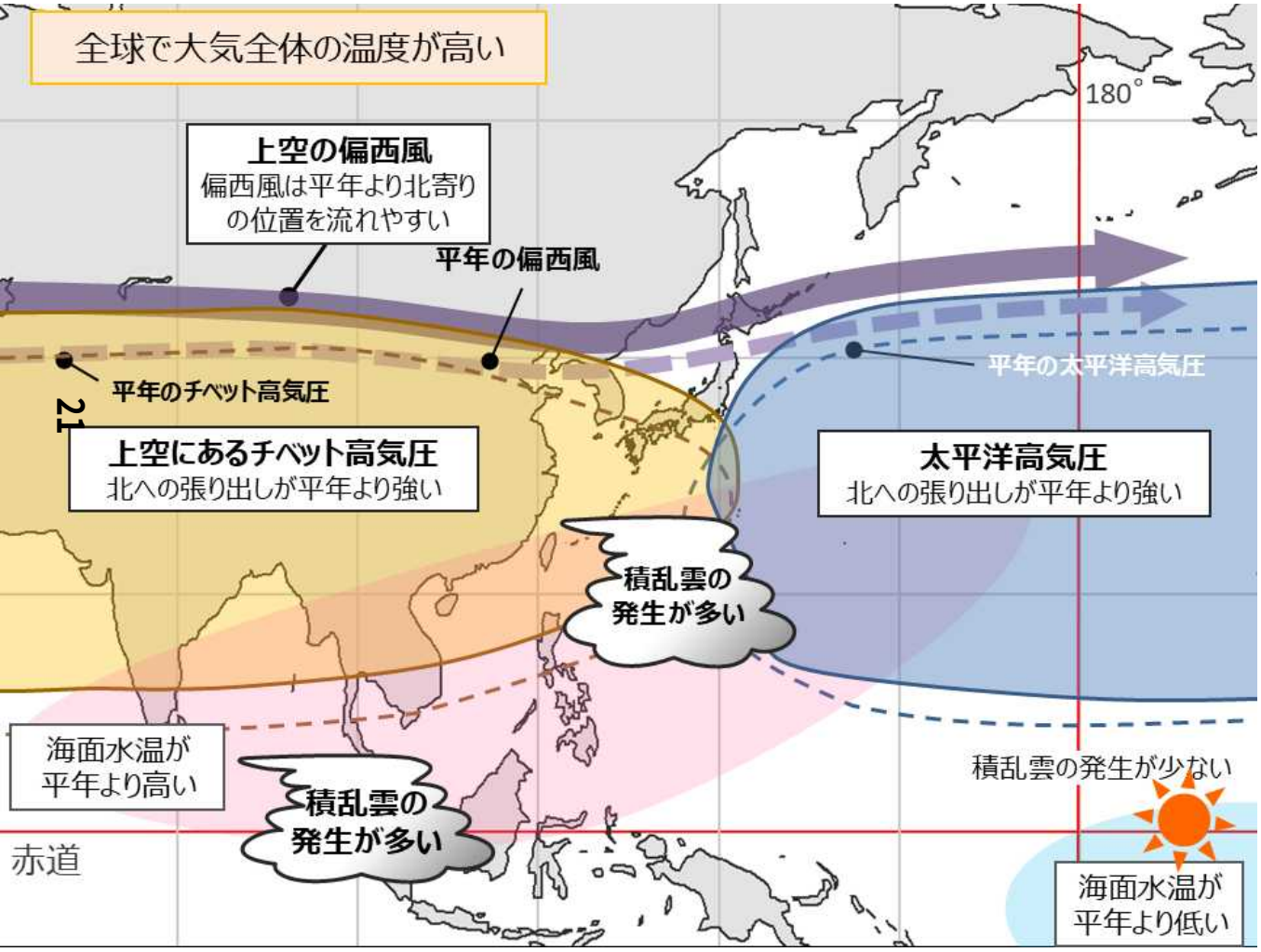
※次回7月22日発表予定

20

気温、降水量の各階級の確率（%）

			低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	東北地方	07月～09月	10	30	60
		07月	10	30	60
		08月	20	30	50
		09月	20	30	50
降水量	東北地方	07月～09月	30	40	30
		07月	40	30	30
		08月	30	30	40
		09月	30	30	40

予想される海洋と大気の特徴（7月～9月）

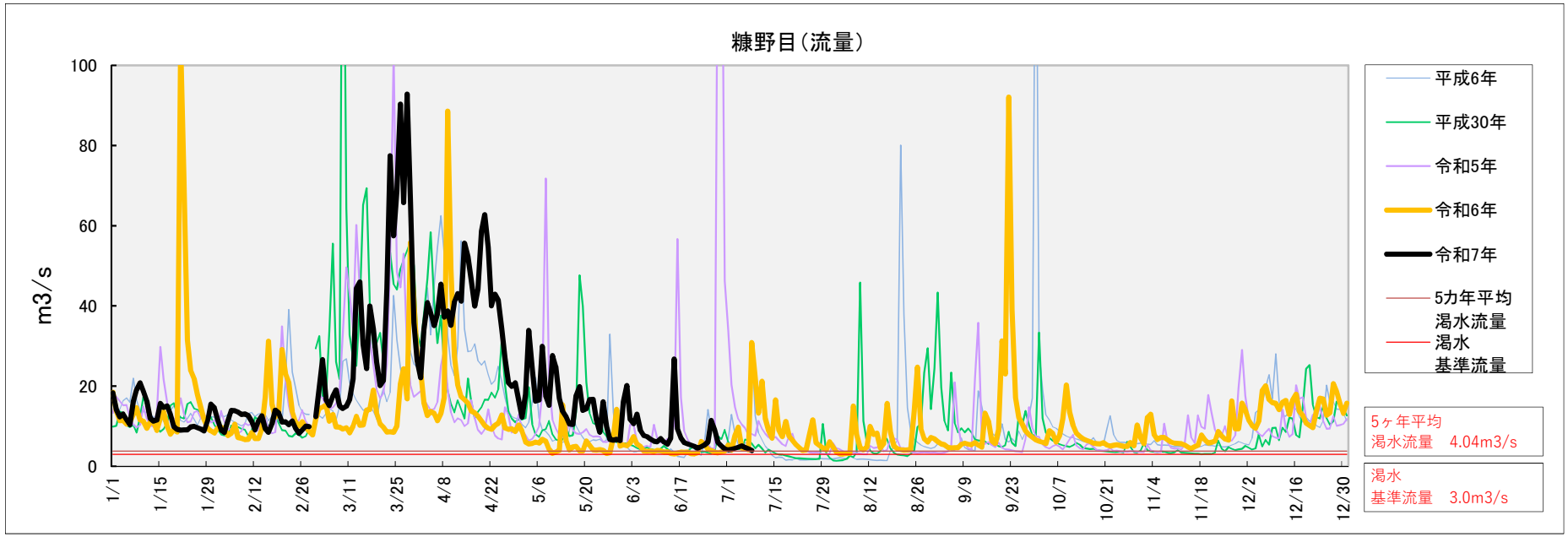


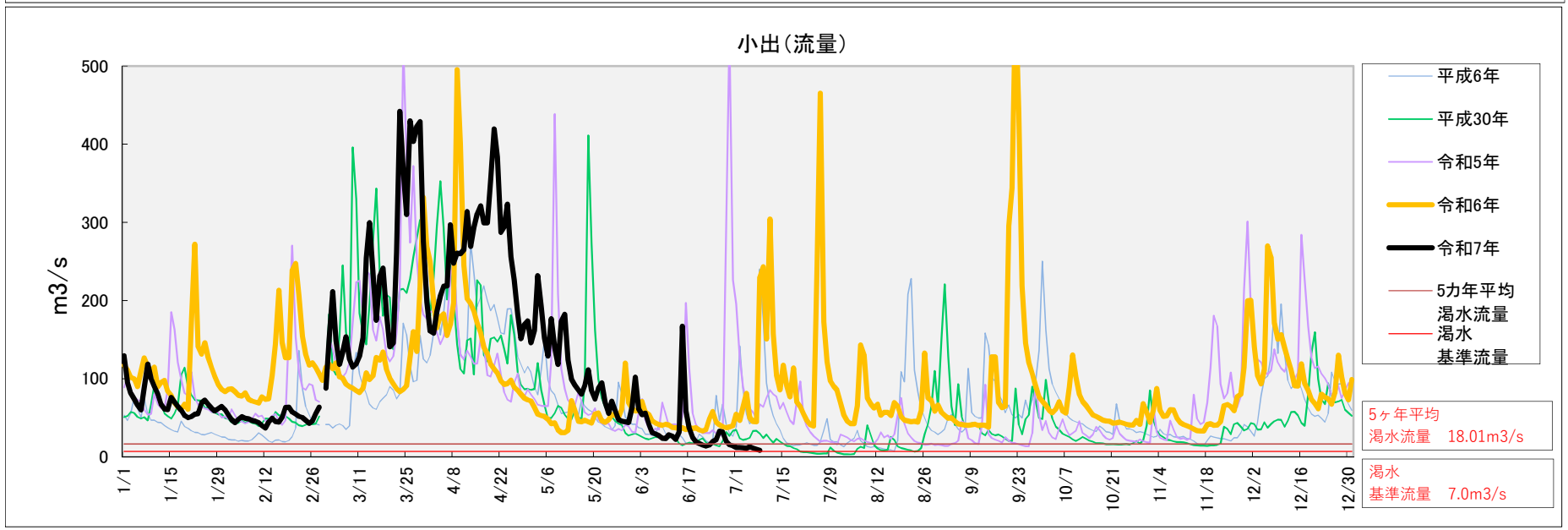
•地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高い。
•海面水温は、太平洋赤道域の中部では低い一方、インド洋東部からフィリピンの東方海上にかけて高い。
•このため、積乱雲の発生は、インド洋東部からフィリピンの東方海上にかけて多く、太平洋中部の熱帯域では少ない。
•これらの影響により、上空の偏西風は、平年より北寄りの位置を流れ、チベット高気圧は、北への張り出しが平年より強いでしょう。また、太平洋高気圧は、北への張り出しが平年より強い。
•このため、東北地方は暖かい空気に覆われやすい。

資料－３

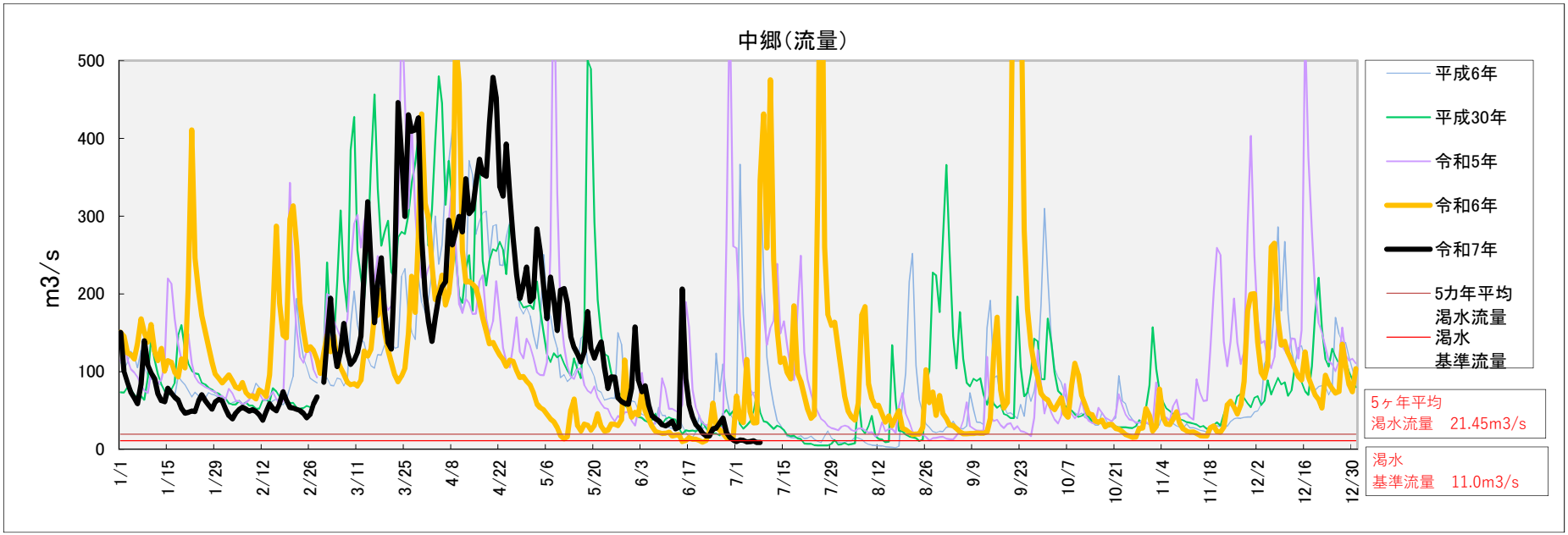
最上川水系の流況等について

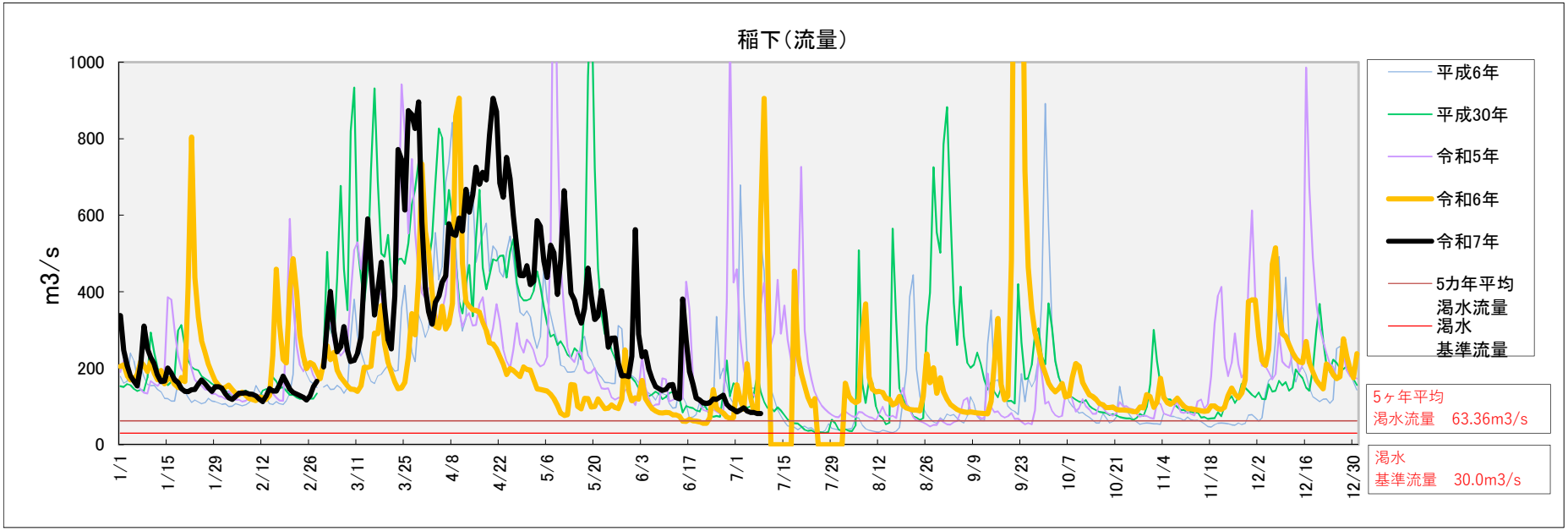
最上川水系渇水情報連絡協議会　　事務局



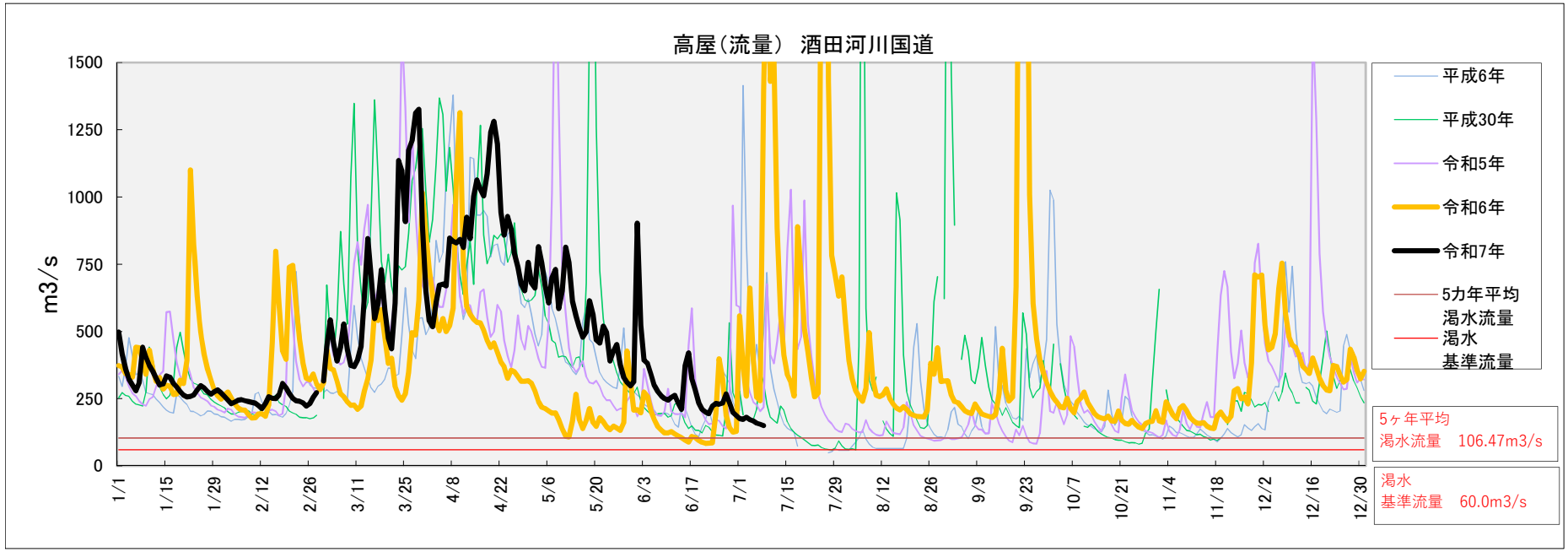


※令和6年（2024年）、令和7年（2025年）の流量は暫定値のため、観測データの照査で今後変更する場合があります。
※5力年平均渇水流量は、令和元年（2019年）から令和5年（2023年）確定値した数値を記入してます。

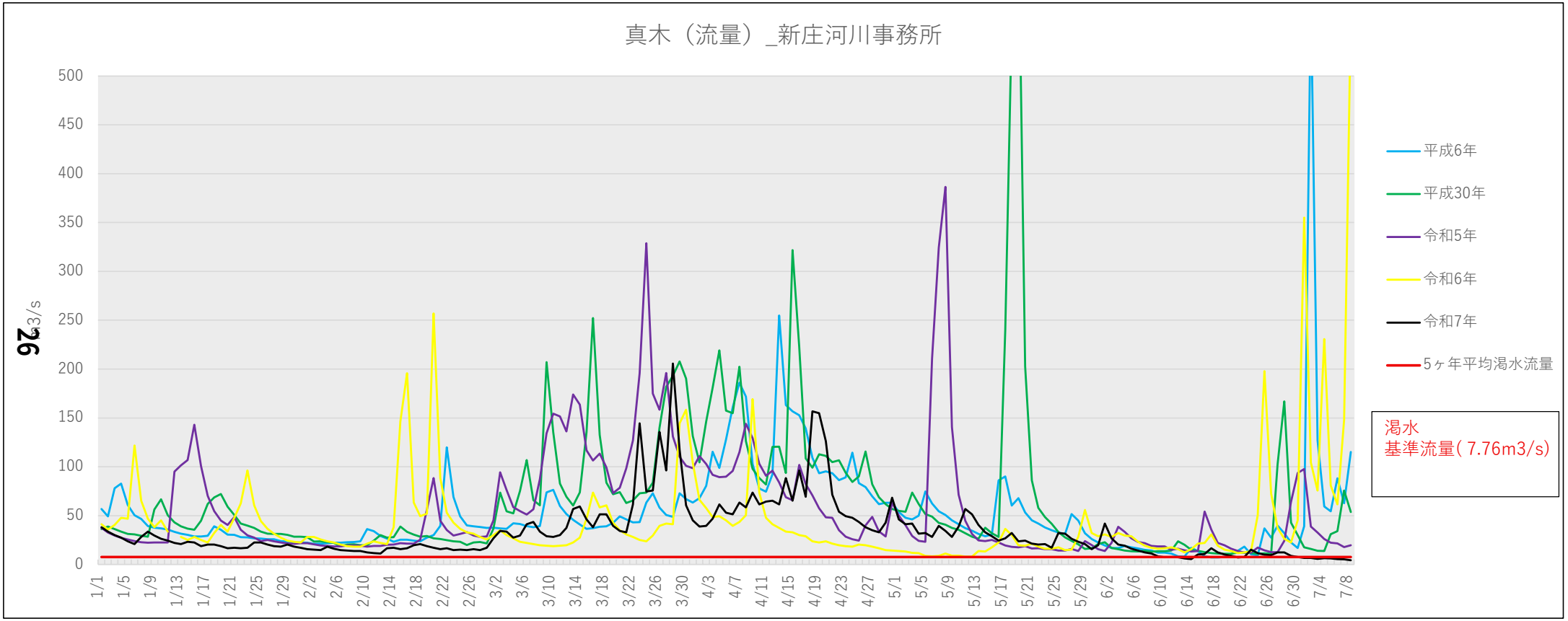




※令和6年（2024年）、令和7年（2025年）の流量は暫定値のため、観測データの照査で今後変更する場合があります。
※5力年平均渇水流量は、令和元年（2019年）から令和5年（2023年）確定値した数値を記入してます。



※令和6年（2024年）、令和7年（2025年）の流量は暫定値のため、観測データの照査で今後変更する場合があります。
※5カ年平均渇水流量は、令和元年（2019年）から令和5年（2023年）確定値した数値を記入してます。



※令和6年（2024年）及び令和7年（2025年）の流量は暫定値のため、観測データの照査で今後変更する場合があります。
令和6年（2024年）及び令和7年（2025年）の流量は令和6年の統一河川用ＨＱ式にて算出しています。

資料－４

各機関からの情報提供資料

○東北地方整備局　最上川ダム統合管理事務所

○東北農政局　西奥羽土地改良調査管理事務所

○山形県　県土整備部　河川課

○山形県　農林水産部　農村整備課

○東北電力株式会社　山形発電技術センター

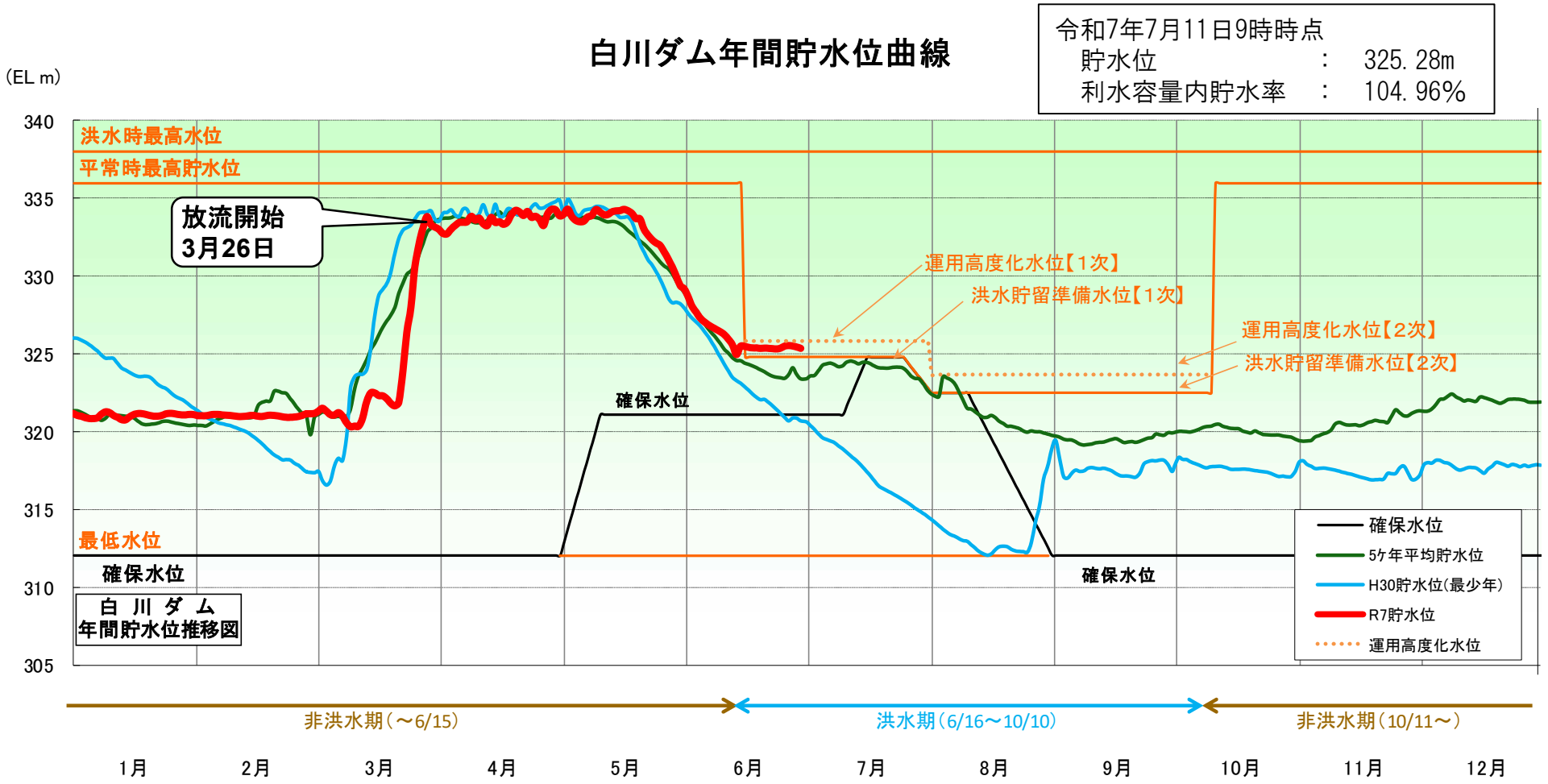
最上川水系渇水情報連絡協議会

最上川ダム統合管理事務所管内ダムの貯水位運用について（白川ダム）

国土交通省
最上川ダム統合管理事務所

令和7年は例年以上の積雪量が観測されており、融雪により貯水位が上昇、3月26日には運用水位に到達したことから、ダム放流を開始した。

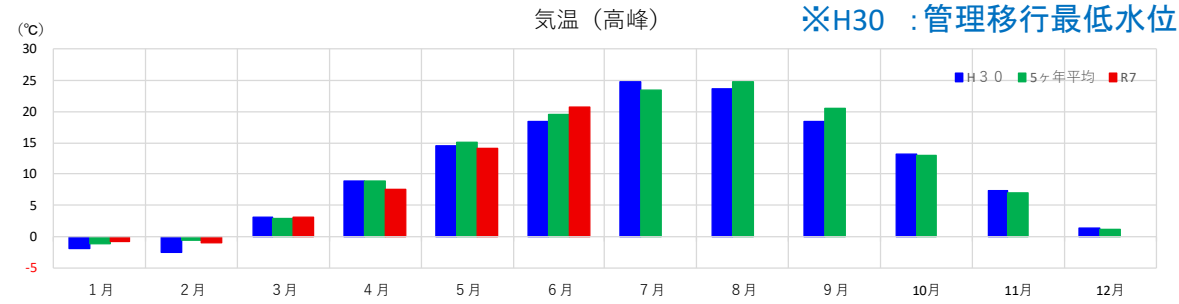
現状は直近5カ年の平均貯水位より高い状況であるが、6月は平均よりも降雨量が少なく、貯水位が減少することも想定されることから、関係利水者と情報交換を密にすることにより、ダムからの放流量を調整する。



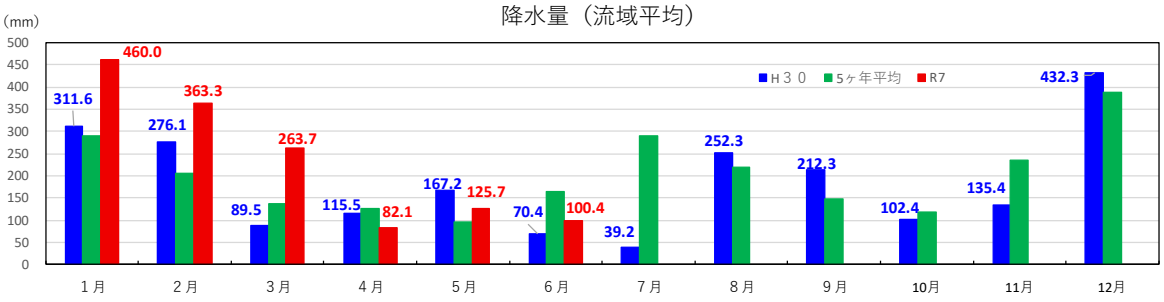
令和７年度最上川水系渇水情報連絡協議会　資料
最上川ダム統合管理事務所（白川ダム）

※H30　:管理移行最低水位記録年

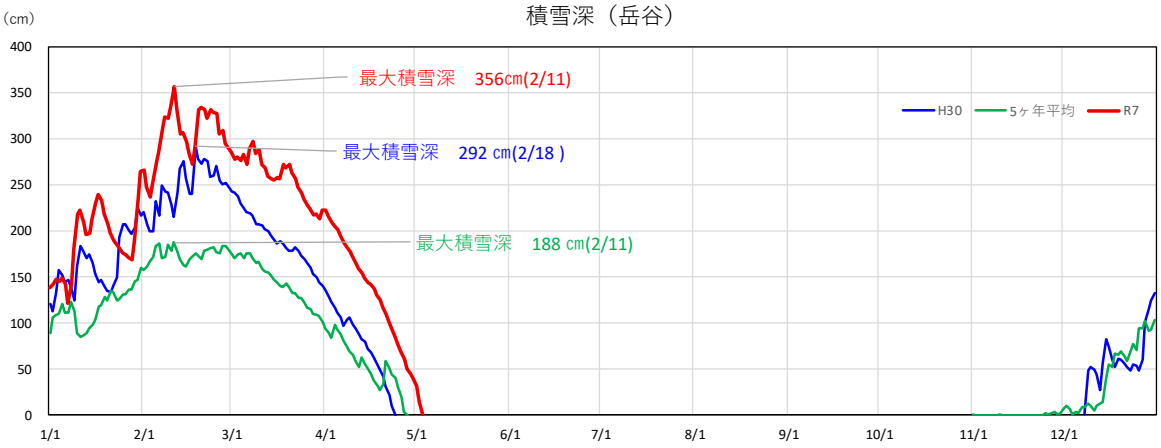
気温（高峰）



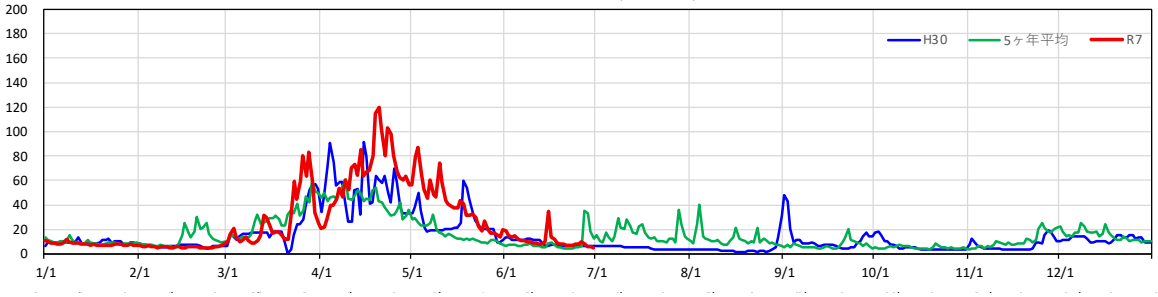
降水量（流域平均）



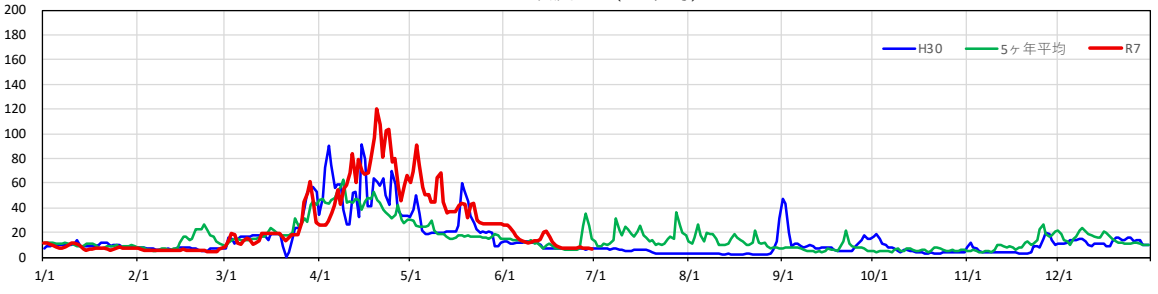
積雪深（岳谷）



ダム流入量（日平均）



ダム放流量（日平均）

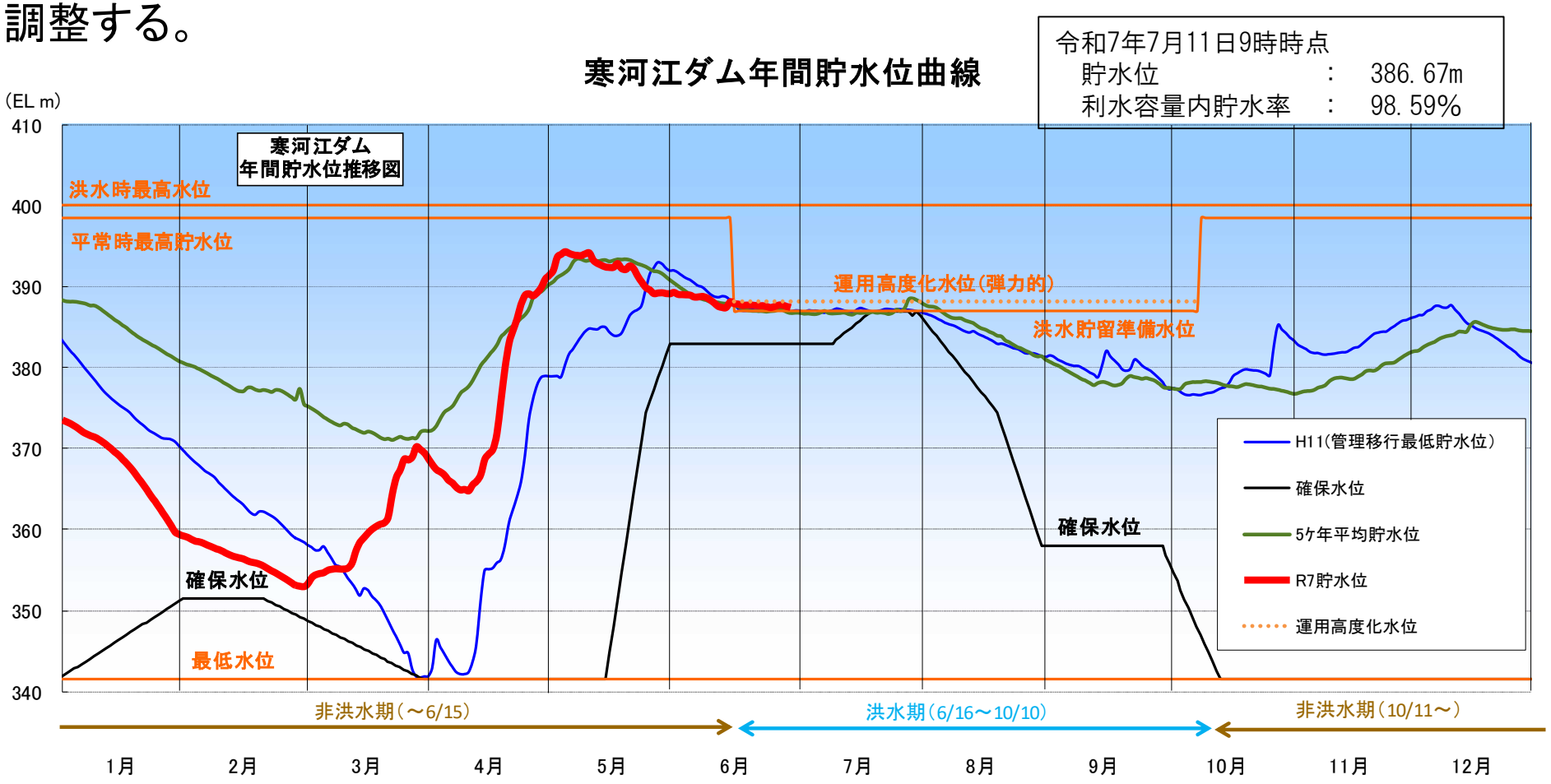


最上川ダム統合管理事務所管内ダムの貯水位運用について（寒河江ダム）

国土交通省
最上川ダム統合管理事務所

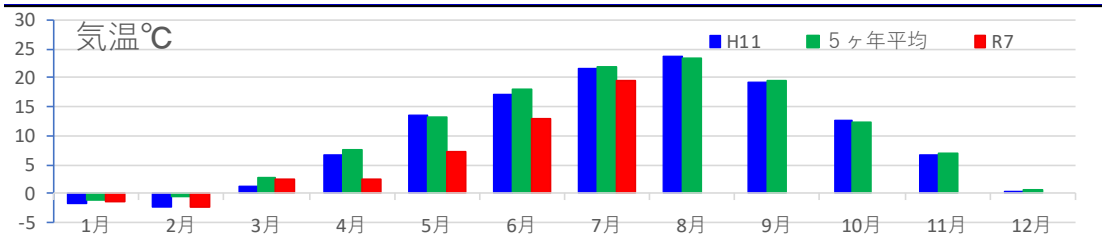
令和7年は例年より低い貯水位で推移していたが、例年より多い積雪量が観測されており、融雪により3～4月に例年並程度の貯水位まで回復している。

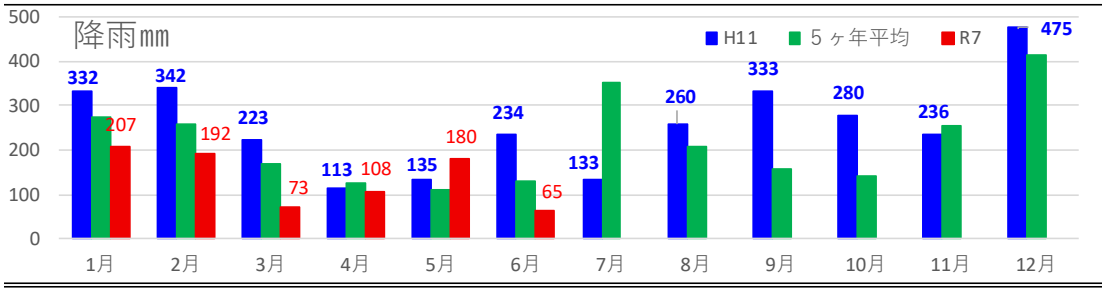
ただ、6月は例年より降雨量が少ない状況となっているとともに、今年度はゲートからの放流により貯水位を調節する必要があり、例年よりも水位を高く保つ必要があることから、関係利水者と情報交換を密にすることにより、ダムからの放流量を調整する。

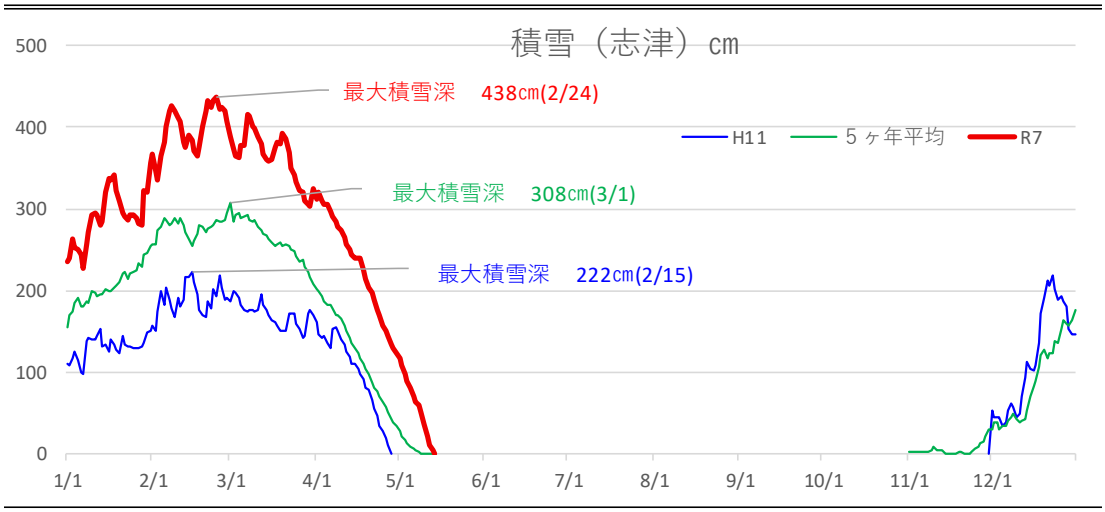


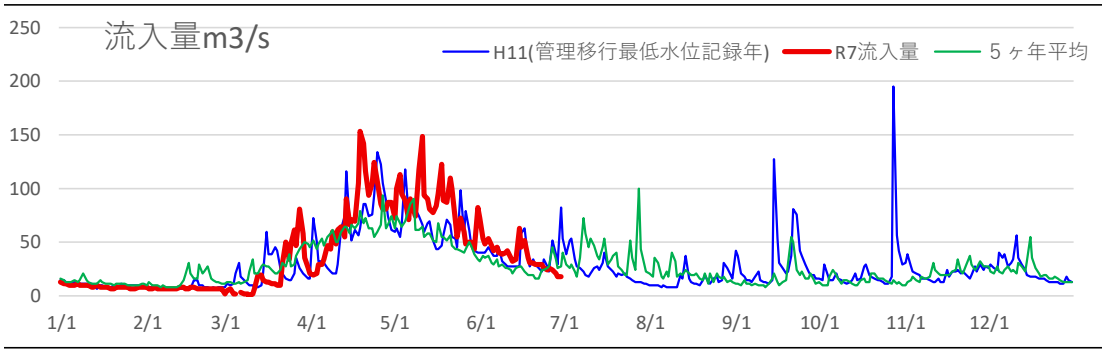
令和７年度最上川水系渇水情報連絡協議会　資料
最上川ダム統合管理事務所（寒河江ダム）

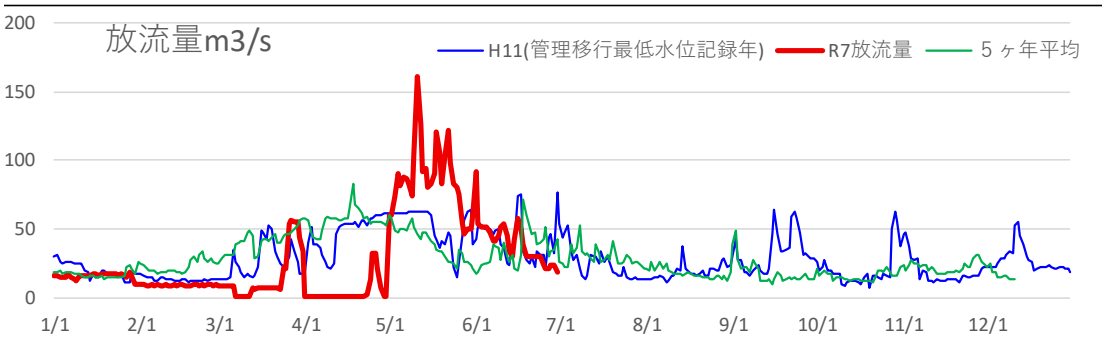
※H11　:管理移行最低水位記録年









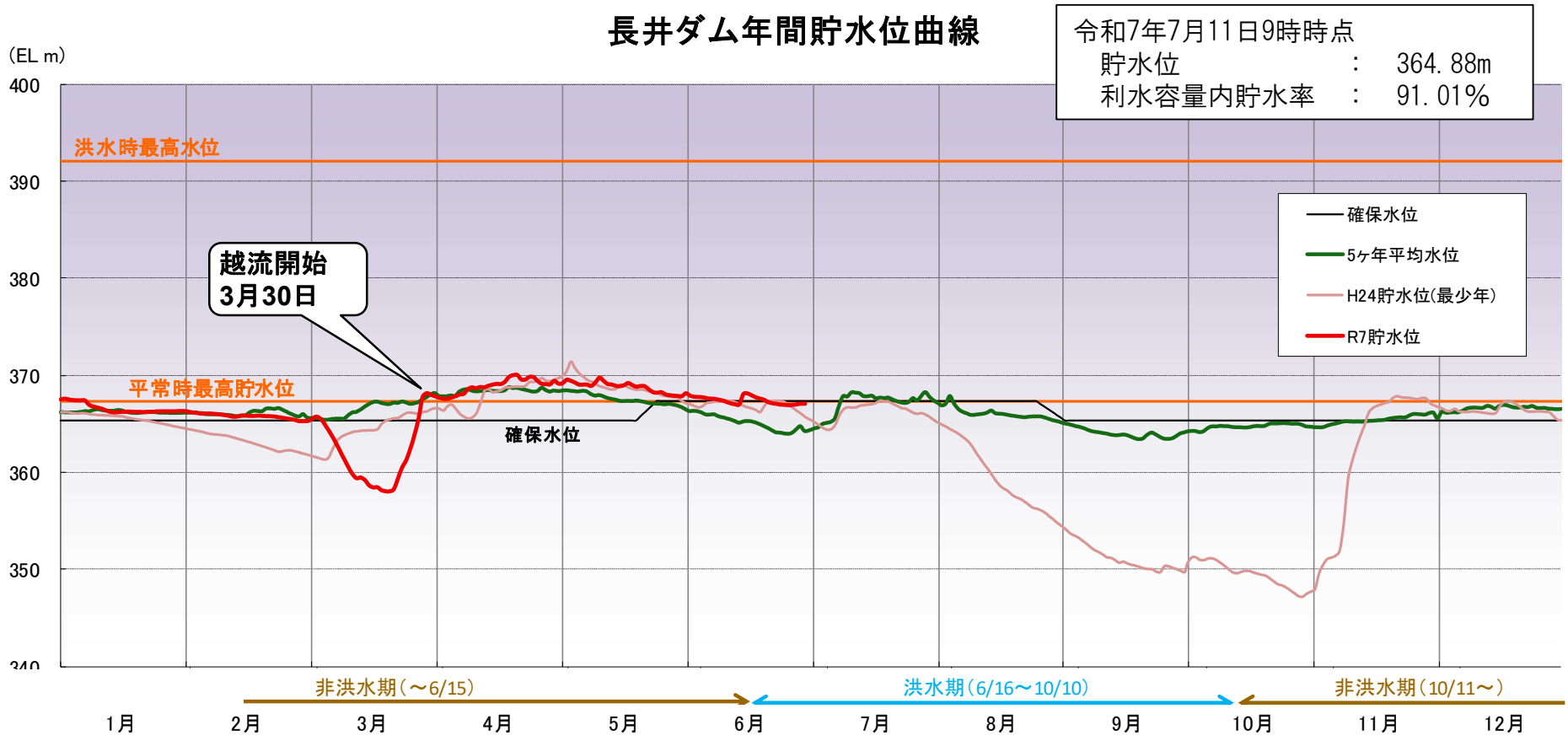


最上川ダム統合管理事務所管内ダムの貯水位運用について（長井ダム）

国土交通省
最上川ダム統合管理事務所

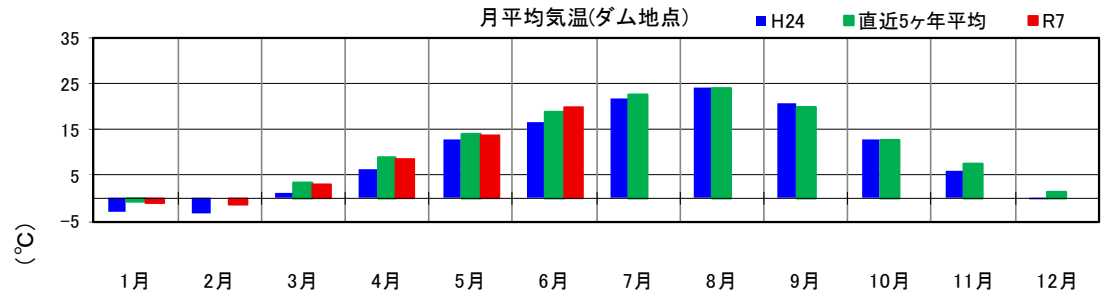
令和7年は本年から開始したハイブリットダムの取組の一環として発電量を増やす取組を行った関係で、3月中旬までは貯水位が平均より低い状態であったが、例年より多い積雪量の融雪により、例年通りの貯水位まで回復し、3月30日には平常時最高水位に達し、越流を開始した。

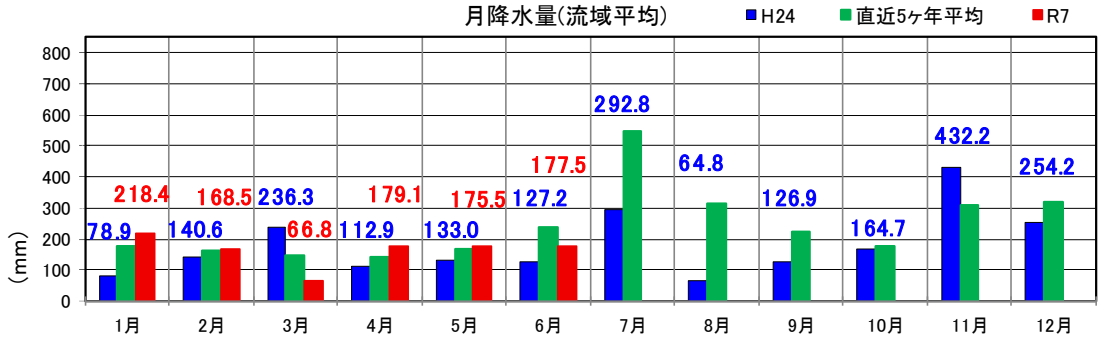
しかし、6月は例年より降雨量が少なく、貯水位が低下することも想定されることから、関係利水者と情報交換を密にすることにより、ダムからの放流量を調整する。

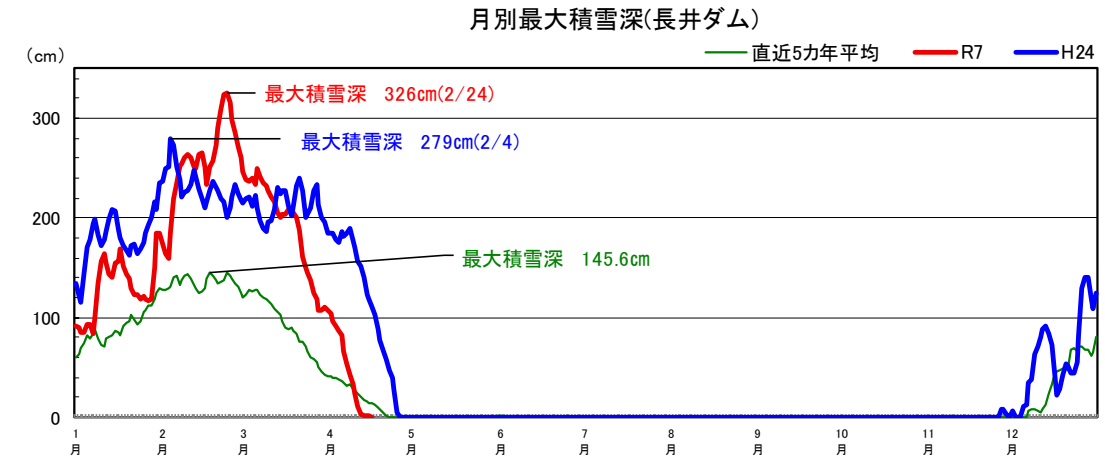


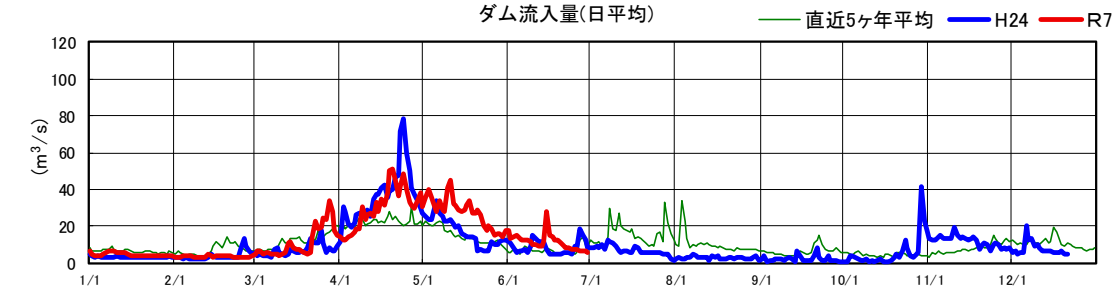
令和７年度最上川水系渇水情報連絡協議会　資料
最上川ダム統合管理事務所（長井ダム）

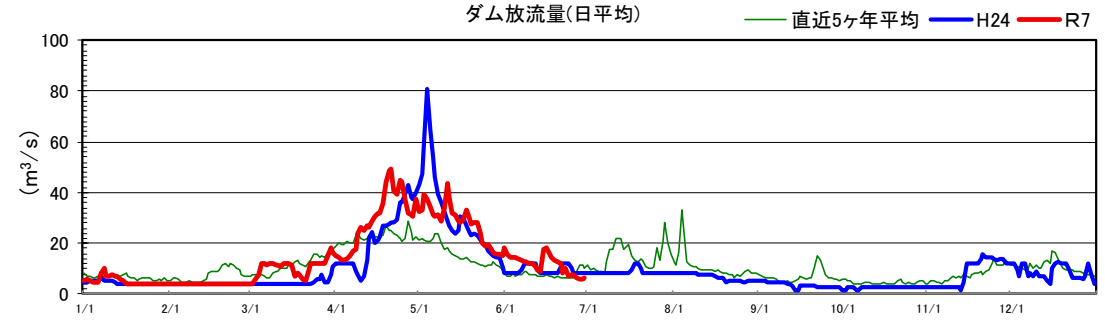
※H24　:管理移行最低水位記録年











＜東北農政局西奥羽土地改良調査管理事務所＞

農業用ダム等の貯水状況調査

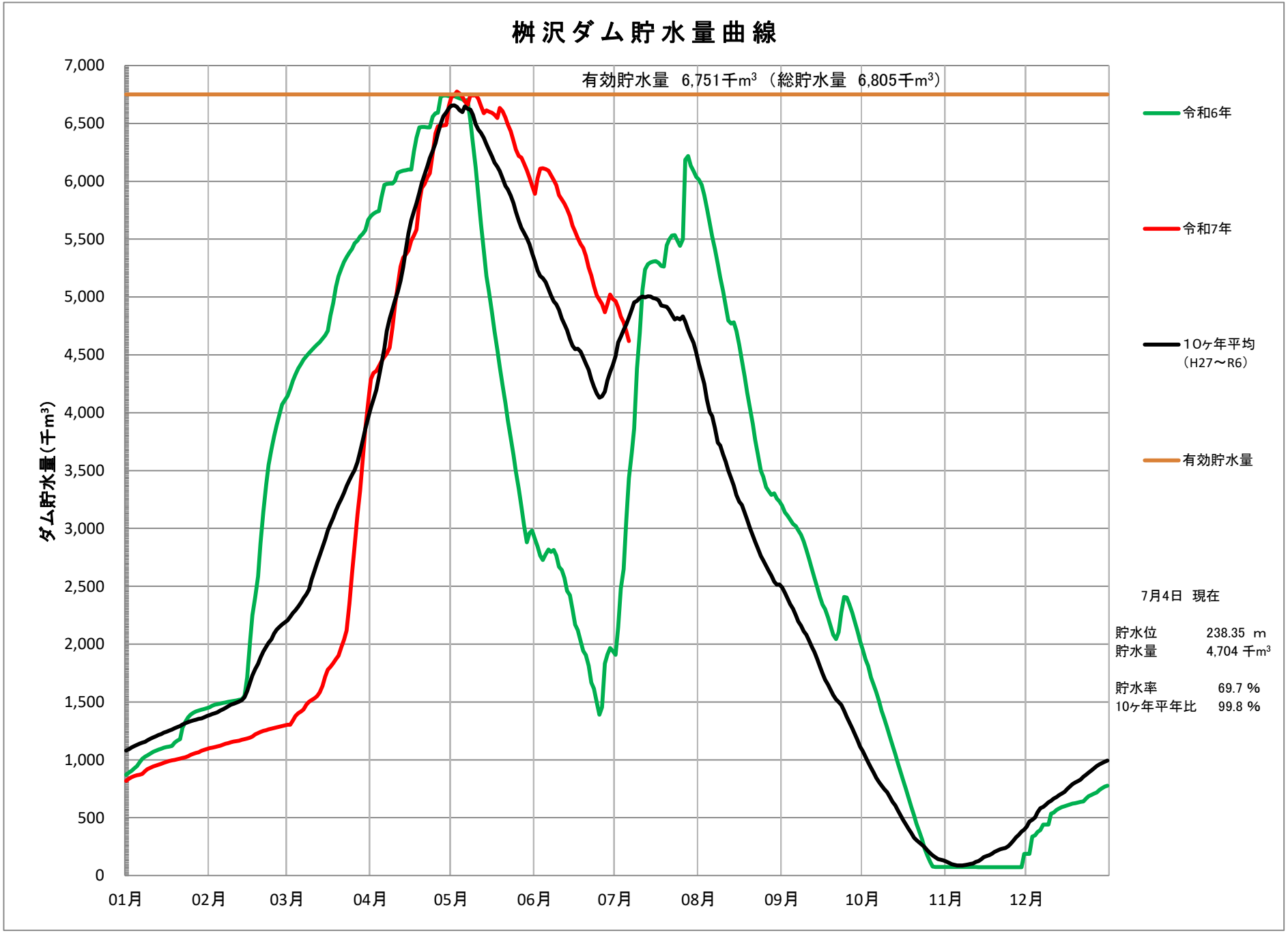
（令和7年7月4日現在）

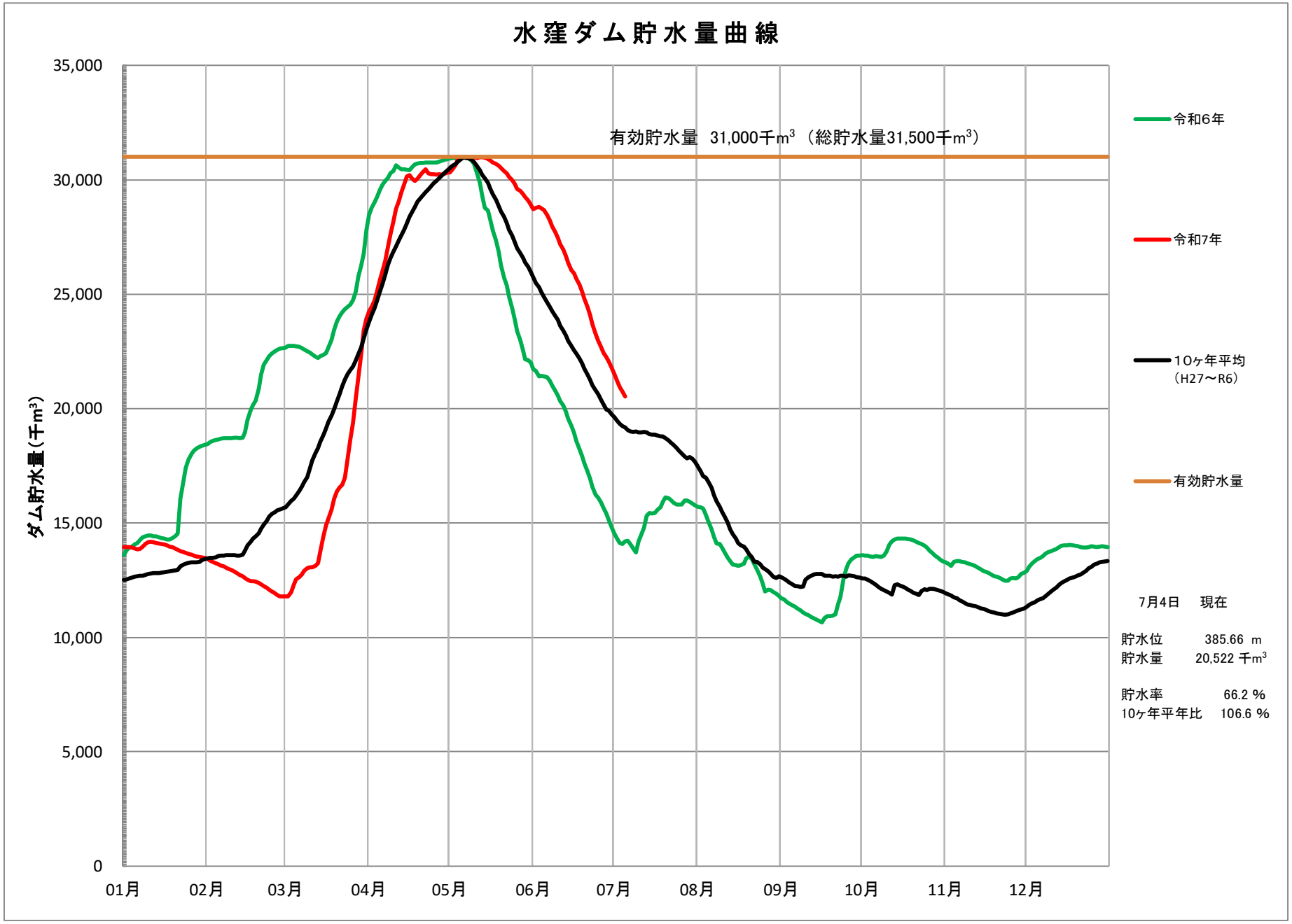
都道府県	水系名	ダ　ム　名	有効貯水量 (千m^3) ①	現貯水量 (千m^3) ②	貯水率 (%) ③＝②/①	10ヶ年平均 同時期貯水率(%) ※1	対前年 同時期貯水率(%) ※2
山形	最上川	桝　沢(A)※3	6,751	4,704	69.7%	99.8%	153.2%
山形	最上川	水　窪(WAI)※3	31,000	20,522	66.2%	106.6%	144.5%
山形	最上川	新鶴子(DAP)※3	29,800	22,769	76.4%	105.4%	133.3%

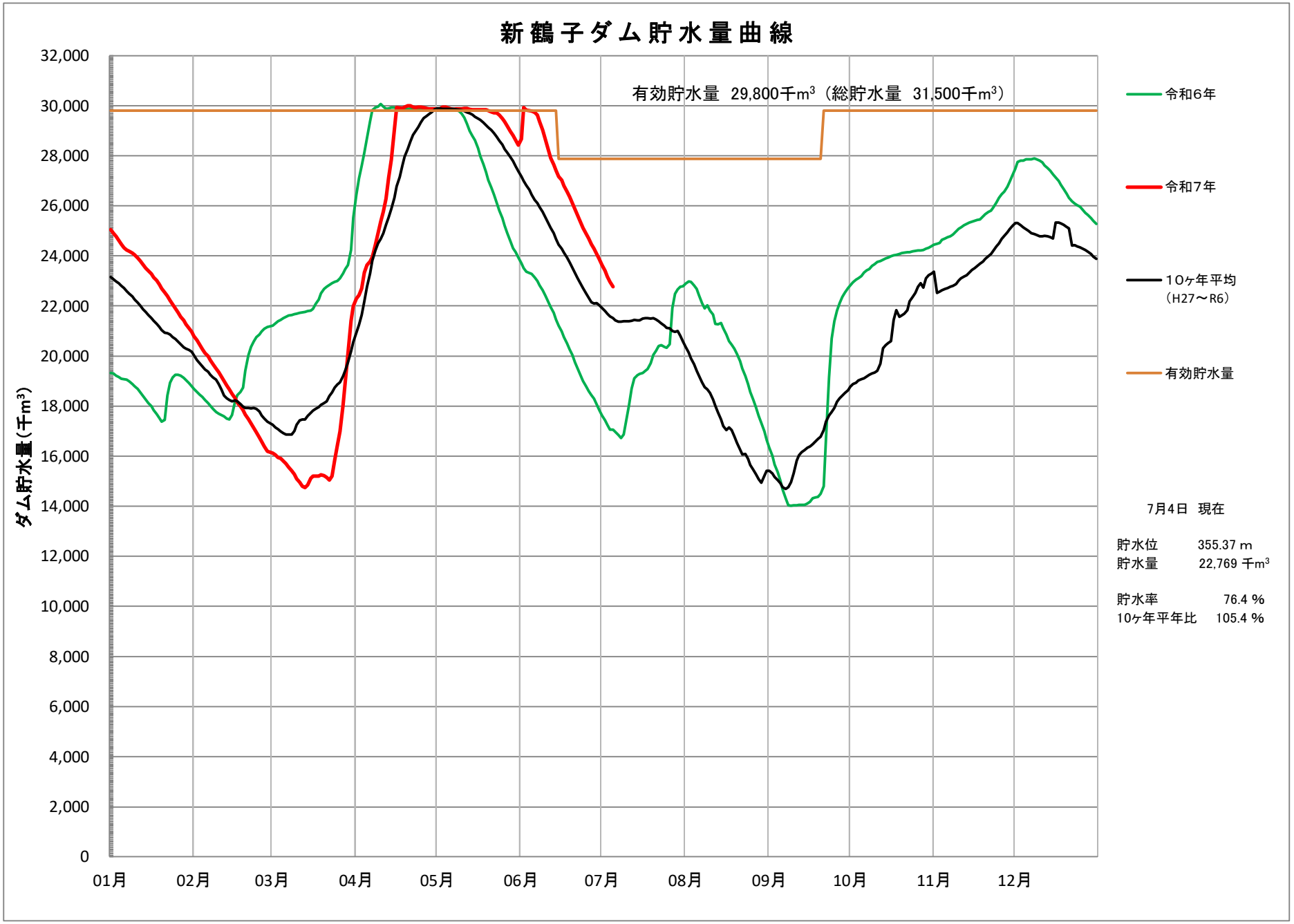
※1　10ヶ年平均同時期貯水率＝現貯水量／10ヶ年平均(H27～R6)同時期貯水量

※2　対前年同時期貯水率＝現貯水量／前年同時期貯水量

※3　F:洪水調整、N:不特定用水、A:特定かんがい、W:水道用水、I:工業用水、P:発電、D:防災


桝沢ダム貯水量曲線
有効貯水量　6,751千m³（総貯水量　6,805千m³）
ダム貯水量(千m³)
7,000
6,500
6,000
5,500
5,000
4,500
4,000
3,500
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
01月
02月
03月
04月
05月
06月
07月
08月
09月
10月
11月
12月
令和6年
令和7年
10ヶ年平均
（H27～R6）
有効貯水量
7月4日　現在
貯水位　238.35　m
貯水量　4,704 千m³
貯水率　69.7 %
10ヶ年平年比　99.8 %


水窪ダム貯水量曲線
35,000
30,000
25,000
20,000
15,000
10,000
5,000
0
ダム貯水量(千m³)
有効貯水量　31,000千m³（総貯水量31,500千m³）
01月
02月
03月
04月
05月
06月
07月
08月
09月
10月
11月
12月
令和6年
令和7年
10ヶ年平均
（H27～R6）
有効貯水量
7月4日　現在
貯水位　385.66 m
貯水量　20,522 千m³
貯水率　66.2 %
10ヶ年平年比　106.6 %

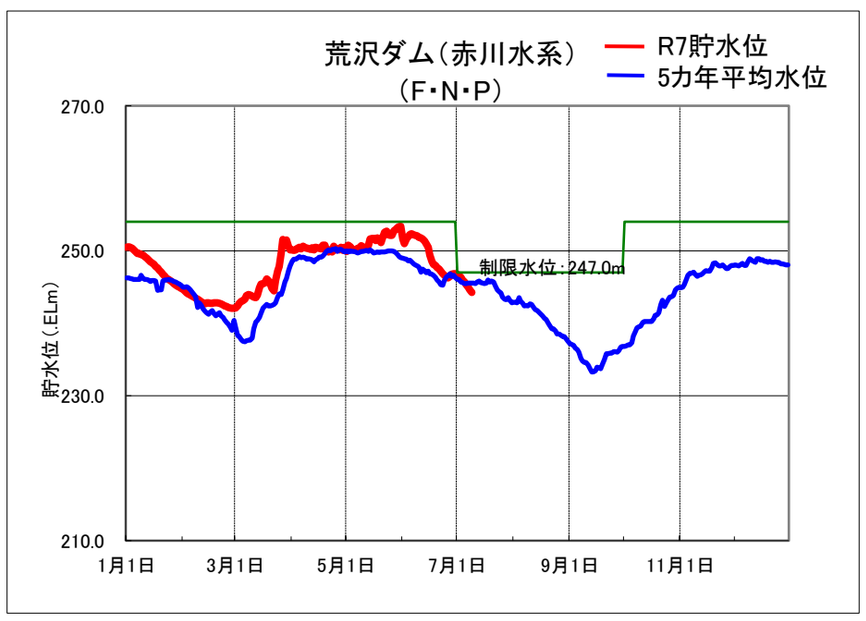

新鶴子ダム貯水量曲線
有効貯水量　29,800千m³（総貯水量　31,500千m³）
ダム貯水量（千m³）
32,000
30,000
28,000
26,000
24,000
22,000
20,000
18,000
16,000
14,000
12,000
10,000
8,000
6,000
4,000
2,000
0
01月
02月
03月
04月
05月
06月
07月
08月
09月
10月
11月
12月
令和6年
令和7年
10ヶ年平均
（H27～R6）
有効貯水量
7月4日　現在
貯水位　355.37 m
貯水量　22,769 千m³
貯水率　76.4 %
10ヶ年平年比　105.4 %

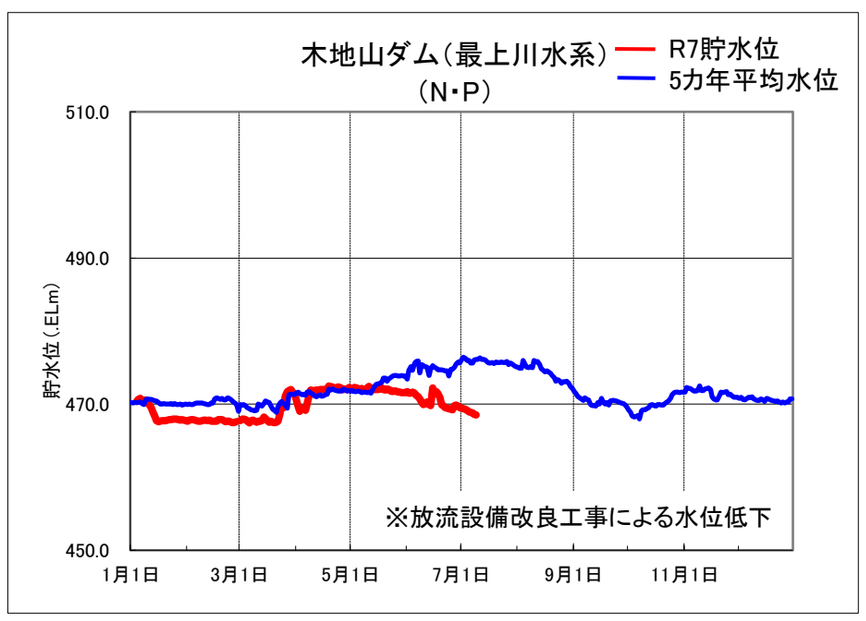
県管理ダム貯水位状況（令和7年1月1日～令和7年7月9日）

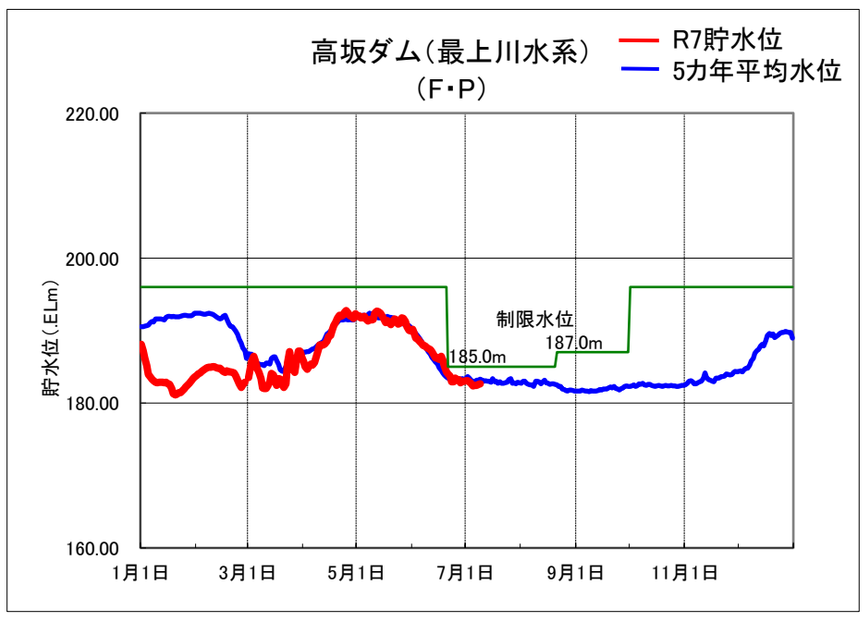
令和7年7月
山形県県土整備部
河川課

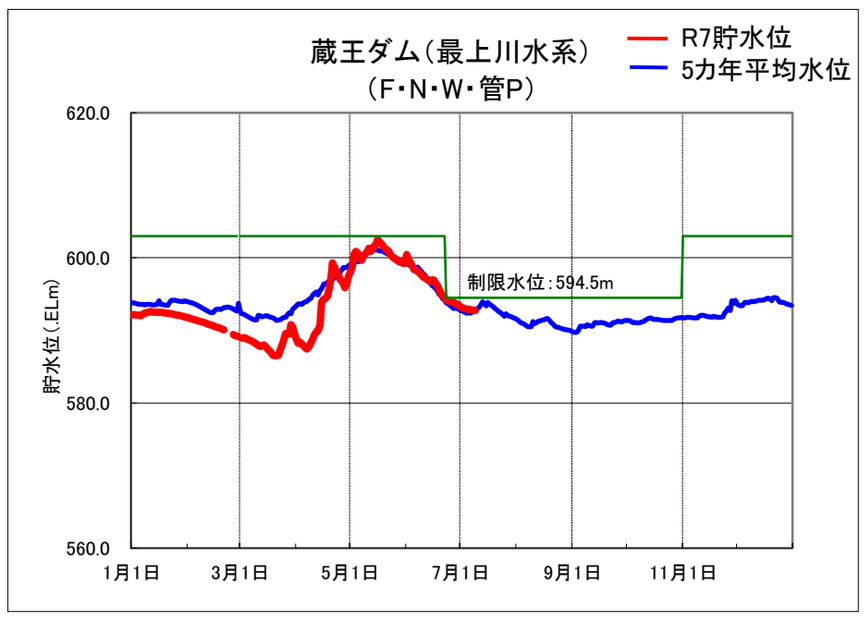
■令和7年1月1日～令和7年7月9日における山形県管理ダムの貯水位の状況は以下に示すとおり。
■田沢川ダム（酒田市）は、5カ年平均に対し貯水位：−4.5m、貯水率：−18.7ポイントの減となっている。それ以外は、ほとんどのダムで5カ年平均の貯水位と概ね同程度で推移しているものの、６月下旬から減少傾向となっている。（木地山ダムは、放流設備改良工事に伴い水位低下措置中）

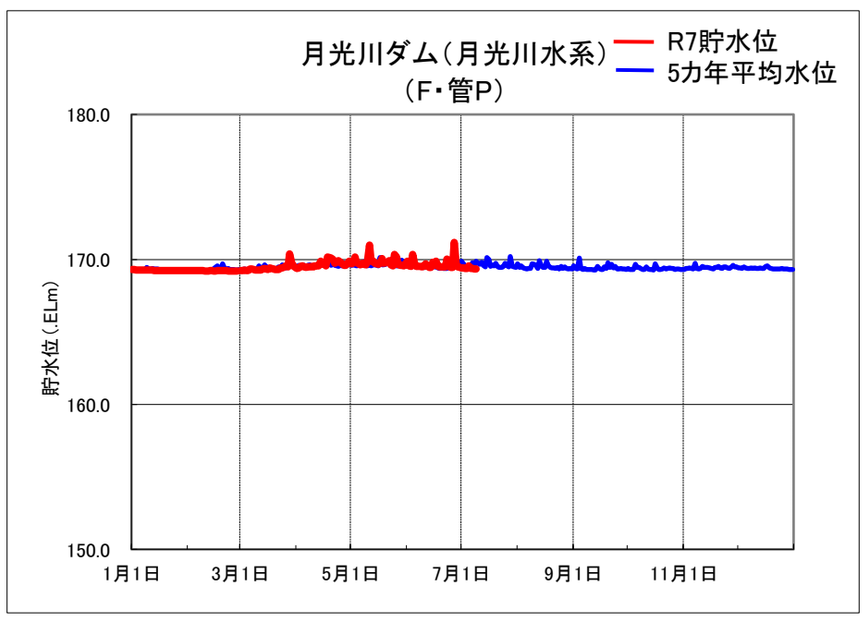
目的凡例　F：洪水調節　N：流水の正常な機能の維持（既得取水の安定化及び河川環境の保全等）　A：灌漑　W：上水道用水　P：発電　管P：管理用発電

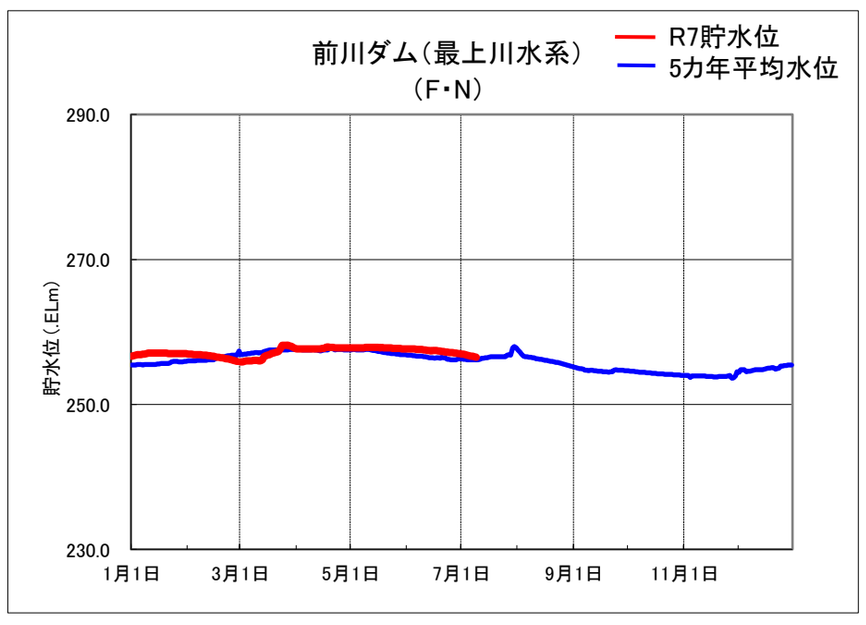


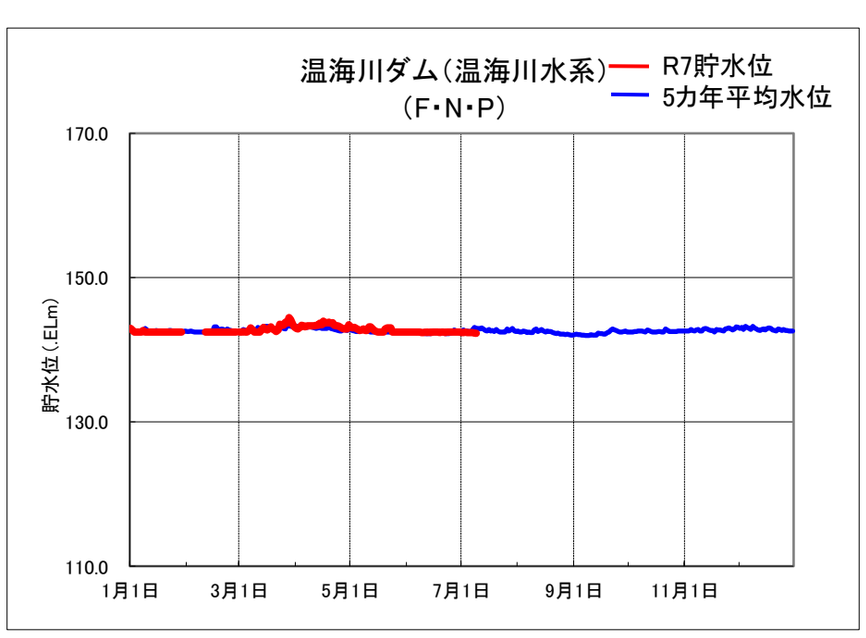


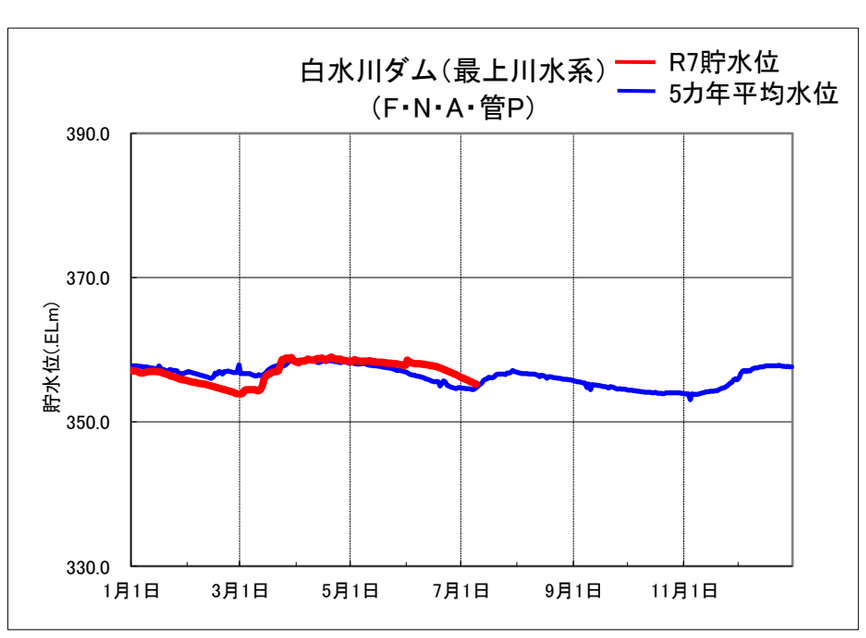






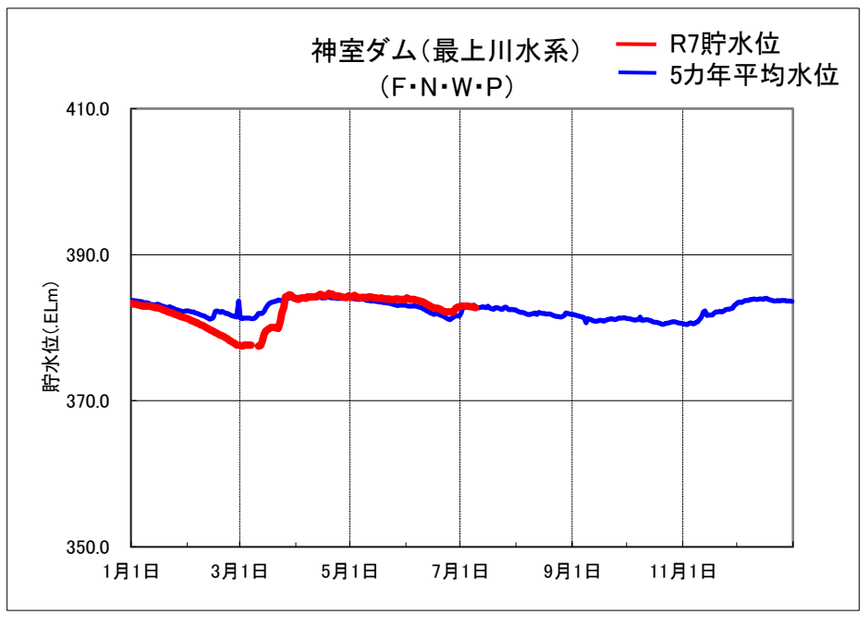


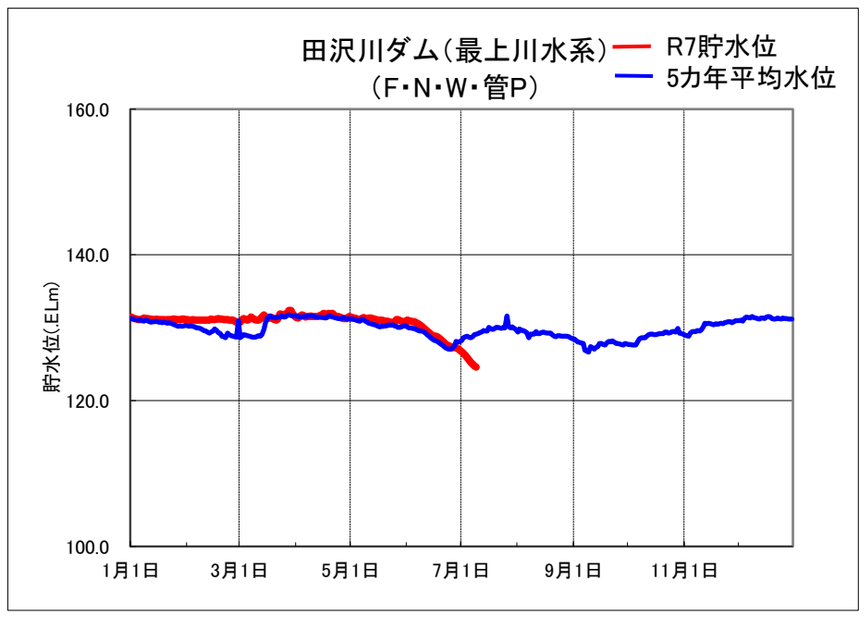


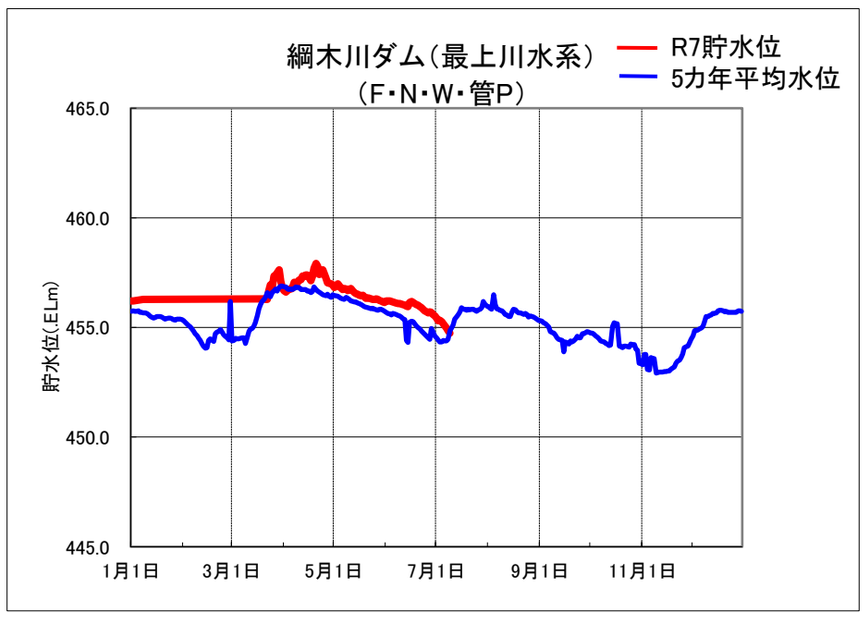


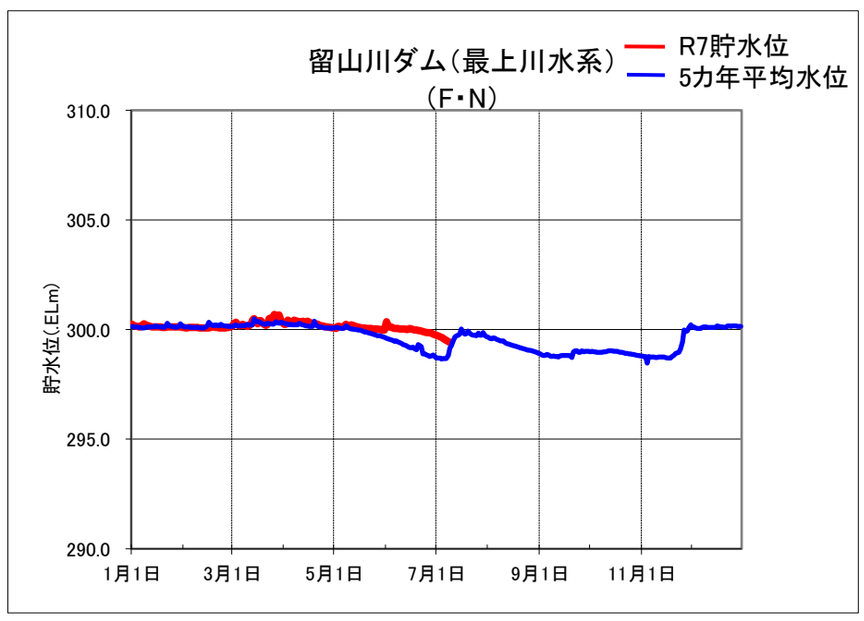
県管理ダム貯水位状況（令和7年1月1日～令和7年7月9日）

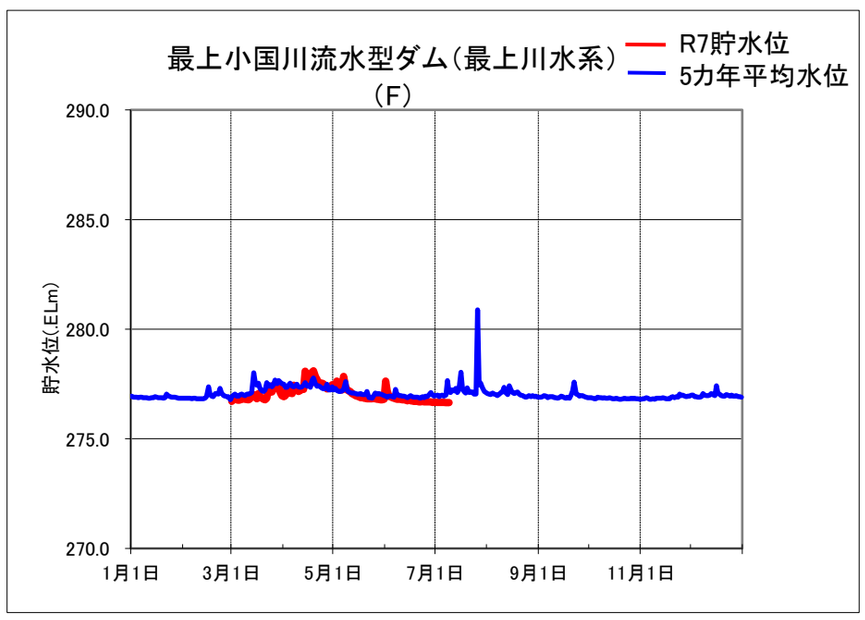
目的凡例　F：洪水調節　N：流水の正常な機能の維持（既得取水の安定化及び河川環境の保全等）　A：灌漑　W：上水道用水　P：発電　管P：管理用発電









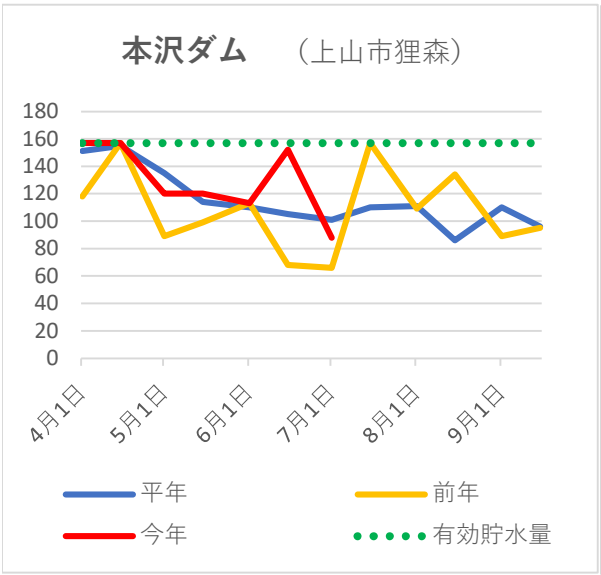


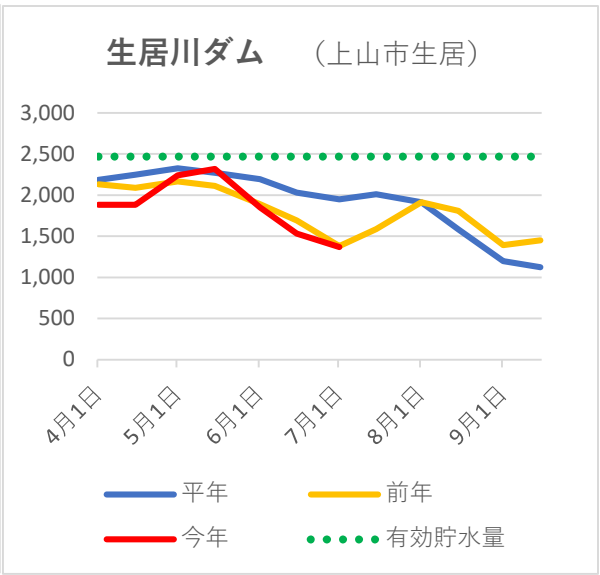
最上川流域ダム・ため池の貯水状況について

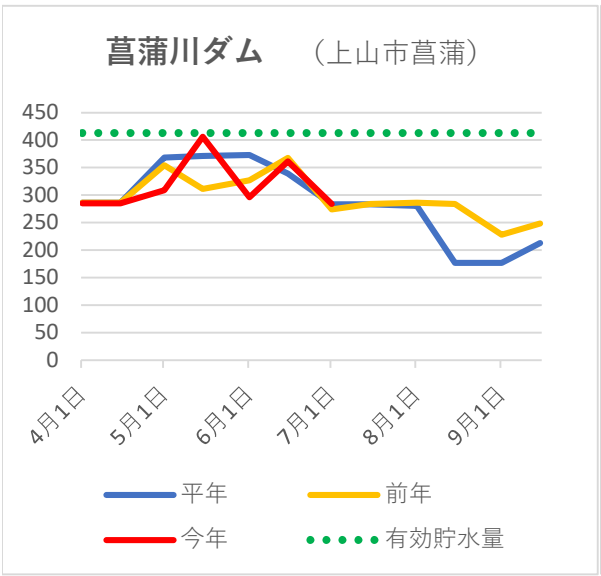
令和７年７月１日現在報告　最上川水系渇水情報連絡協議会

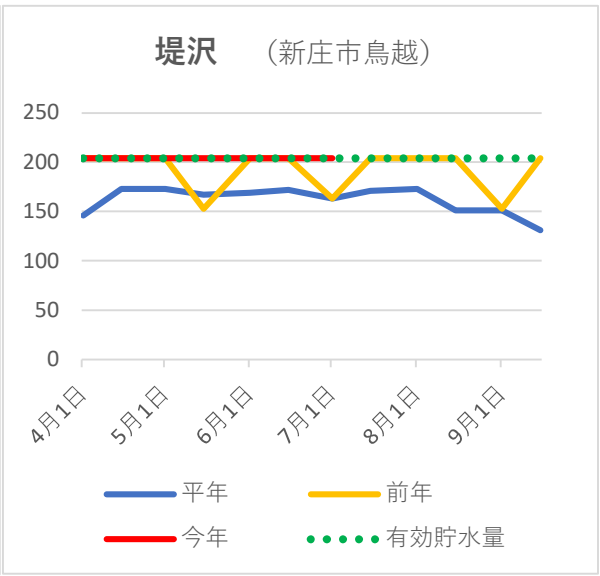
山形県農林水産部農村整備課

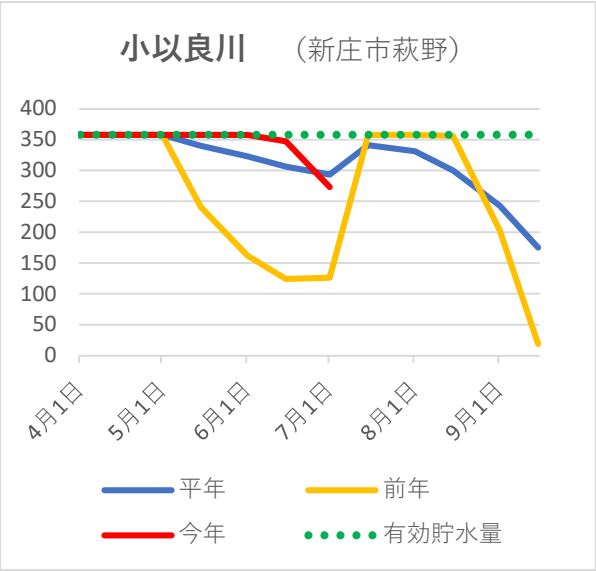
施設名	場所	有効貯水量	現貯水量	貯水率	平年比
本沢ダム	上山市狸森	157	88	56%	87%
生居川ダム	上山市生居	2,470	1,369	55%	70%
菖蒲川ダム	上山市菖蒲	413	284	69%	100%
堤沢	新庄市鳥越	204	204	100%	125%
小以良川	新庄市萩野	358	273	76%	93%
引竜第二	河北町北谷地	332	277	83%	96%
藤田	大江町富沢	163	106	65%	82%
馬神	朝日町大谷	1,244	1,231	99%	100%
一の沢	東根市一の沢	320	320	100%	139%

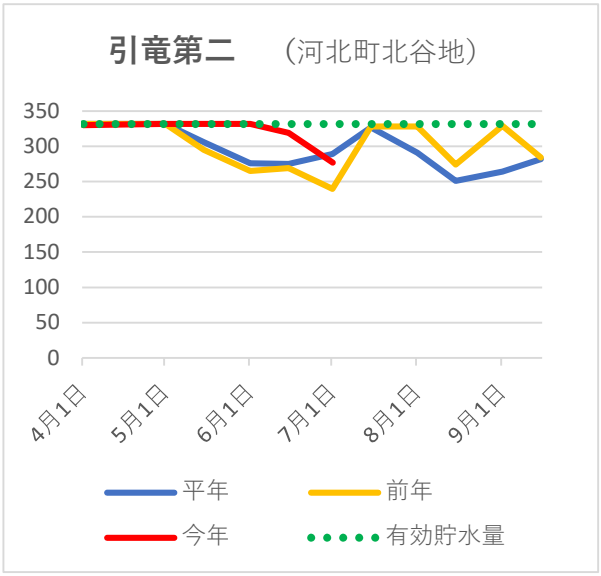


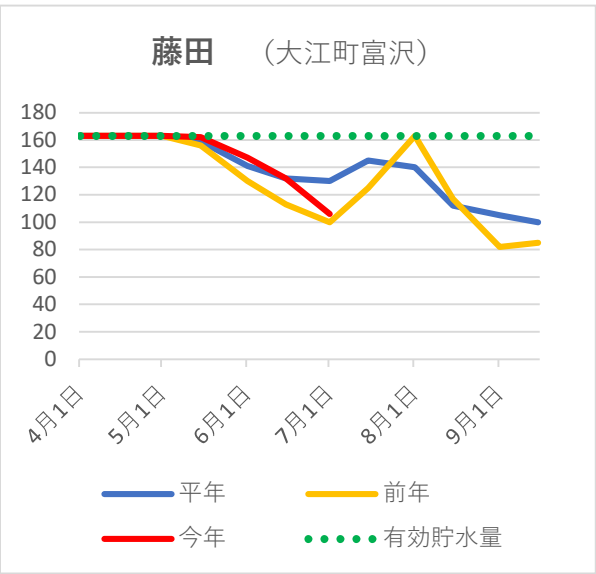


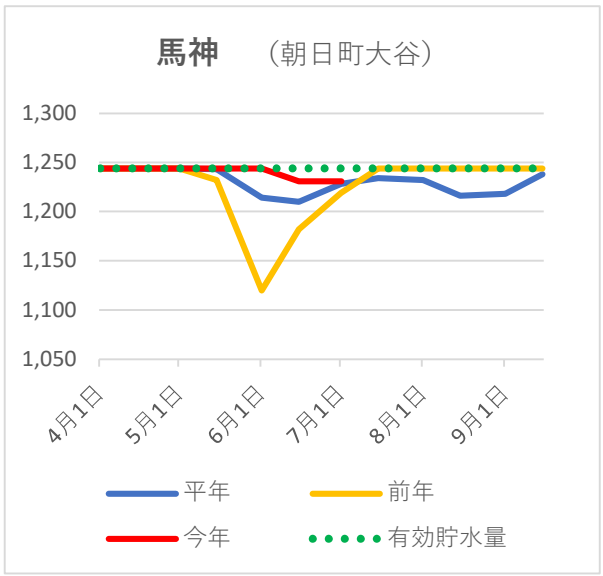


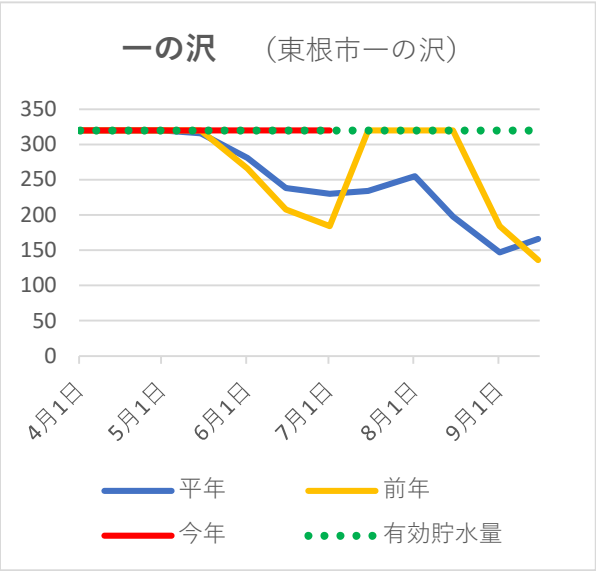



小以良川　（新庄市萩野）
400
350
300
250
200
150
100
50
0
4月1日
5月1日
6月1日
7月1日
8月1日
9月1日
平年
前年
今年
有効貯水量


引竜第二　（河北町北谷地）
350
300
250
200
150
100
50
0
4月1日
5月1日
6月1日
7月1日
8月1日
9月1日
平年
前年
今年
有効貯水量

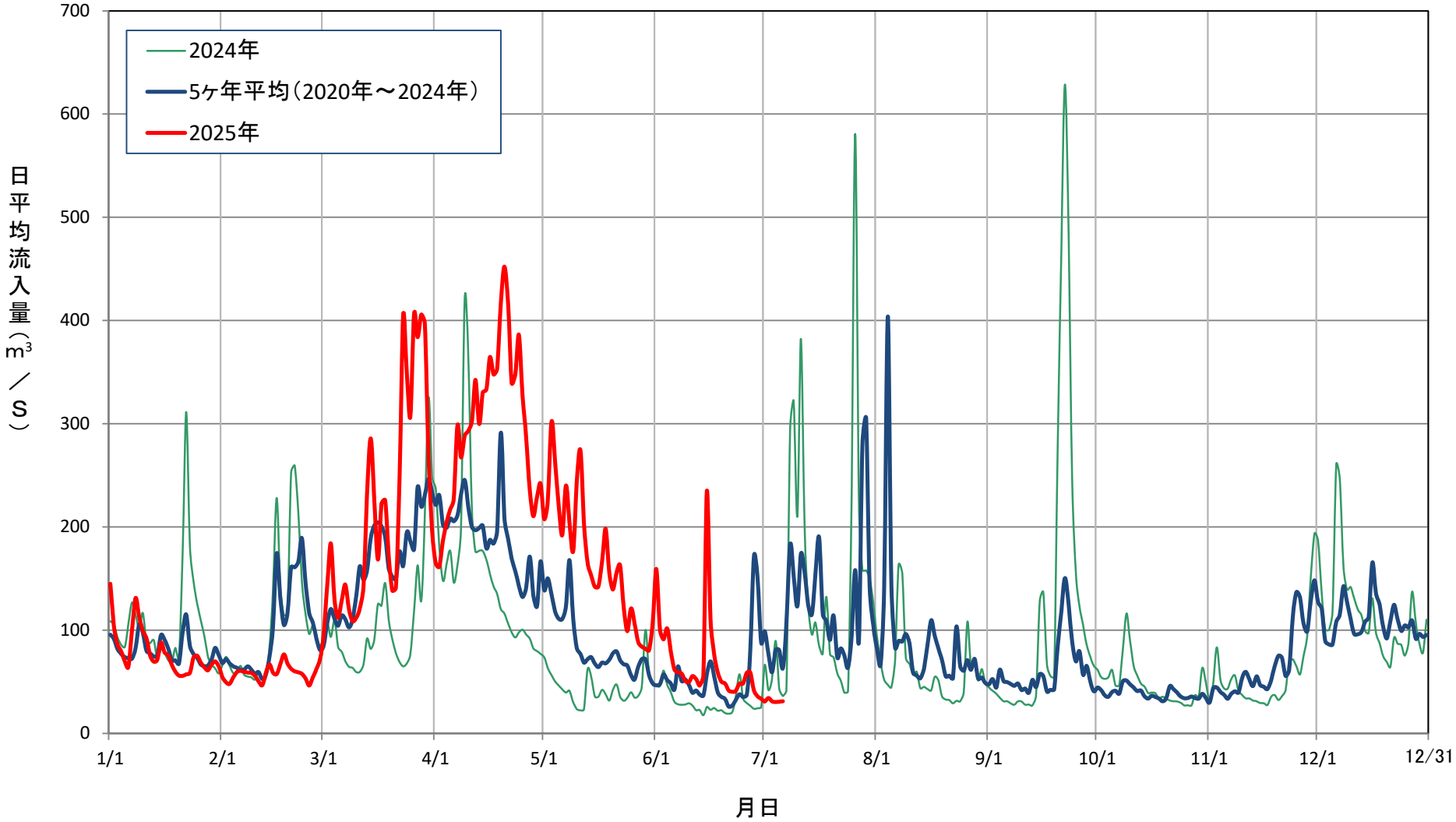

藤田　（大江町富沢）
180
160
140
120
100
80
60
40
20
0
4月1日
5月1日
6月1日
7月1日
8月1日
9月1日
平年
前年
今年
有効貯水量


馬神　（朝日町大谷）
1,300
1,250
1,200
1,150
1,100
1,050
4月1日
5月1日
6月1日
7月1日
8月1日
9月1日
平年
前年
今年
有効貯水量


一の沢　（東根市一の沢）
350
300
250
200
150
100
50
0
4月1日
5月1日
6月1日
7月1日
8月1日
9月1日
平年
前年
今年
有効貯水量

【2025年7月6日迄】

東北電力(株)上郷ダム5ヶ年平均流入量



資料－５

渇水情報の収集・情報提供等（案）

最上川水系渇水情報連絡協議会　　事務局

渇水情報の収集・提供（案）

１．最上川水系河川の流量・ダムの貯水量に関する情報提供について

１）最上川等の流量情報の提供について

最上川水系渇水情報連絡協議会事務局は、同協議会の観測基準点として定めている高屋、稲下、中郷、小出、糠野目及び真木（鮭川）の流量観測点の１つで、５ヵ年平均渇水流量を下回った場合は、同協議会事務局から協議会構成機関へ最上川の流量情報を提供する。

提供頻度は、土日祝日を除く毎日

２）最上川流域ダムの貯水状況について

インターネット上の山形県河川・砂防情報システムから貯水量・貯水率を閲覧できる国土交通省所管及び山形県所管のダムについては、適宜インターネットでダム貯水量等の情報を閲覧していただくことで対応いたします。

インターネットから情報収集ができないダム等については、事務局が情報収集を行い情報提供を行う。

なお、貯水状況収集開始のタイミングは、最上川水系渇水情報連絡協議会の観測基準点の一つで、５ヵ年平均渇水流量を下回った時点とする。

〇インターネットで情報収集ができないダム等

農林水産省関係	桝沢ダム、水窪ダム、新鶴子ダム
山形県農林水産部関係	本沢ダム、生居川ダム、菖蒲川ダム、堤沢ダム 小以良ダム、引竜第二ダム、藤田溜池、 馬神溜池、一の沢ダム

情報の収集・提供頻度は、昨年度同様、毎週１回を基本とする。

２．最上川水系河川の取水障害等に関する情報の収集と情報の提供について

協議会構成機関において、下記①～②の情報を入手した場合は事務局へ情報を提供する。

提供を受けた情報は、同事務局から協議会構成機関へ情報提供を行う。

協議会事務局へ下記①～②の情報提供を行った場合は、情報を提供した協議会構成機関は、その後の状況を調査し、毎月曜日に事務局へ情報提供を行い、事務局から各構成機関へその後の情報提供を行う。

情報提供様式は、別添の様式とします。

① 最上川水系河川で取水障害の発生しているあるいは取水障害発生の恐れがある旨の情報。

② 最上川水系河川で渇水に対応するため取水量の減量、輪番等の取水制限を実施した旨の情報。

３．最上川水系河川に係る利水関係機関での渇水に関する情報連絡会議等の開催状況の共有について

協議会構成機関が、渇水に関する連絡会議や、情報共有のための会議が公にして開催された旨の情報を入手した場合、その内容を事務局へ提供する。
提供を受けた情報は、同事務局から協議会構成機関へ情報提供を行う。

渇水に起因する取水障害等の連絡票

記載例

情報提供機関名：〇〇県　〇〇部

整理番号	1	2	3
取水障害に 関する施設名	□□樋管		
河川名	最上川水系 △△　川	最上川水系 川	最上川水系 川
左右岸の別	左岸 ・ 右岸	左岸 ・ 右岸	左岸 ・ 右岸
所在地	〇町大字△地内		
取水障害等 の状況	平成28年　6月15日 渇水により□□樋管の取水口底版付近まで河川水位が低下。	平成　年　月　日	平成　年　月　日
その後の状況1	平成28年　6月20日 上記の状況継続中	平成　年　月　日	平成　年　月　日
その後の状況2	平成28年　6月27日 上記の状況継続中 平成28年　6月26日から輪番制による取水開始	平成　年　月　日	平成　年　月　日
その後の状況3	平成28年　7月　4日 上記の状況継続中	平成　年　月　日	平成　年　月　日
その後の状況4	平成28年　7月11日 平成28年7月9日からの大雨により△△川の流量が回復し 平成28年　7月10日をもって輪番制を解除	平成　年　月　日	平成　年　月　日
その後の状況5	平成　年　月　日	平成　年　月　日	平成　年　月　日
その後の状況6	平成　年　月　日	平成　年　月　日	平成　年　月　日

＊取水障害等の情報は、その情報を得た後、速やかに渇水協　事務局へ情報提供をお願いします。
＊その後の状況は事務局へ毎月曜日に情報提供をお願いします。